

2021年11月11日

2022年3月期 第2四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 宮崎純一（取締役副社長CFO）

質疑応答 八木晋介（代表取締役 取締役社長COO）



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**

2021 JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY

NISSAN CHEMICAL CORPORATION

会計方針の変更(一部8月より数値変更あり)

1.方針の変更: 「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号)」を適用

2.適用時期: 2021年4月1日より

3.方針変更に伴うPL、BSへの主な影響:

(1) 代理人取引

(主たる適用セグメント) 化学品、農業化学品、卸売

(適用後) 売上総利益額見合の売上高のみ表示(適用前は売上高、売上原価を総額で表示)

(2021年度予想(2021年11月業績予想修正後)PLへの想定影響額)

売上高、売上原価がそれぞれ205億円減少(5月時点予想:446億円減少)、営業利益には影響せず
各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除

(2) 売上高を基礎としたロイヤリティ収入

(主たる適用セグメント) 農業化学品(動物薬ロイヤリティ収入)

(適用前)(2020年度まで) MSD社*1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月、に計上

(適用後)(2021年度より) MSD社*1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、
10-12月売上高見合を翌年2月、に計上

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

(3) 変動対価(販売時点では変動する可能性のある売上値引など)

(主たる適用セグメント) 農業化学品

(適用後)売上期間に応じて見積もり計上(適用前は金額確定時に計上)

適用前に比べ、値引額は1Q増加(マイナス影響)、2Q減少、上期増加、下期減少、年間ほぼなし、の傾向

(2021年度BSへの想定影響額)

2021年度期首利益剰余金(BS項目)が2020年度の遡及修正で15億円減少(税効果反映後)

(適用前)(2020年度) 2020農年(2019年10月-2020年9月)の売上見合い値引きのみ計上

(適用後)(2020年度) 上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き15億円追加計上

2021上実績ハイライト

1. 前年同期比

◆ **営業利益は、前年同期180億円に対し、213億円と33億円の増益(+19%)**

- － 化学品は、メラミン・テピック・環境化学品の増収が大きく、増益
- － 機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調により増益
- － 農業化学品は、フルラネルロイヤリティ収入増も、会計方針の変更(農薬売上値引コスト増)による減収、アルテア・グレーシアの減収、フルラネルの出荷減、固定費の増加により減益
- － 医薬品は、リバロ減収も、ファインテック増収により増益

◆ **純利益は、前年同期139億円に対し、163億円と24億円の増益(+17%)**

◆ **営業利益、経常利益、当期純利益は2018年上期の過去最高益を更新**

2. 業績予想(2021年5月発表)比

◆ **営業利益は、業績予想177億円に対し、213億円と36億円の上ぶれ**

- － 化学品は、メラミン・テピックの好調により、利益上ぶれ
- － 機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調により、利益上ぶれ
- － 農業化学品は、フルラネルロイヤリティ収入の上ぶれに加え、固定費下ぶれ等により、利益上ぶれ
- － 医薬品は、リバロの上ぶれにより、利益上ぶれ

◆ **純利益は、5月予想140億円に対し、163億円と23億円の上ぶれ**

2021下予想ハイライト

1. 前年同期比

◆ 営業利益は、前年同期245億円に対し、261億円と16億円の増益(+6%)

- ー 化学品は、メラミン・環境化学品の増収により増益
- ー 機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調により増益
- ー 農業化学品は、会計方針の変更(農薬売上値引コスト減)による増収、フルララネル・ダイセン等の増収により増益
- ー 医薬品は、リバロ・ファインテックの減収により減益

◆ 純利益は、前年同期196億円に対し、201億円と5億円の増益(+3%)

2. 前回業績予想(2021年5月発表)比

◆ 営業利益は、前回予想259億円に対し、261億円と2億円の上ぶれ

- ー 化学品は、原燃料価格上昇も、メラミン・テピックの好調、在庫変動影響(プラス要因)により、利益上ぶれ
- ー 機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調により、利益上ぶれ
- ー 農業化学品は、フルララネルは好調だが、グレーシア・アルテアの下ぶれにより、利益下ぶれ
- ー 医薬品は、リバロの下ぶれにより、利益下ぶれ

◆ 純利益は、前回予想201億円と同額の201億円

2021年間予想ハイライト

1. 前年同期比

- ◆ **営業利益は、前年同期425億円に対し、474億円と49億円の増益(+11%)**
 - －化学品は、メラミン・テピック・環境化学品の増収が大きく、増益
 - －機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調により増益
 - －農業化学品は、グレースシア・アルテア等の減収、固定費の増加により利益横ばい
 - －医薬品は、リバロ減収も、ファインテック増収、在庫変動影響(プラス要因)により増益
- ◆ **純利益は、前年同期335億円に対し、364億円と29億円の増益(+9%)**
- ◆ **コロナ禍にもかかわらず、営業利益・経常利益は8年連続、純利益は9年連続 過去最高益を更新**
- ◆ **ROE予想は18.1%と初の18%台で前年実績17.5%、前回予想17.0%、中計目標値16%を上回る**

2. 前回業績予想(2021年5月発表)比

- ◆ **営業利益は、前回予想436億円に対し、474億円と38億円の増え**
 - －化学品は、原燃料価格上昇も、メラミン・テピックの好調、在庫変動影響(プラス要因)により、利益増え
 - －機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調により、利益増え
 - －農業化学品は、フルララネル増え、在庫変動影響(プラス要因)により、利益増え
 - －医薬品は、リバロの増えにより、利益増え
- ◆ **純利益は、前回予想341億円に対し、364億円と23億円の増え**

3. 中期経営計画予想比(詳細p50、52)

- ◆ **コロナ禍にもかかわらず、中計予想営業利益430億円、経常利益440億円、純利益330億円に対し、それぞれ44億円、48億円、34億円増えで達成**

4. 株主還元

- ◆ **配当は年間114円(中間50円、期末64円)とし、前年104円(中間46円、期末58円)に対し、10円増配、前回予想108円(中間48円、期末60円)に対し、6円増配、配当性向は44.7%(前年実績は44.9%)**
- ◆ **その結果、配当は10年連続増配の見込み**
- ◆ **自己株式取得は、2021年7月に70億円完了**
- ◆ **総還元性向(配当+自己株式取得)の目標は75%(配当114円と自己株式取得実績70億円のみに基づけば64%)**

(白紙)

2021上実績(1)

(億円)

	2020上			2021上			増減			増減率
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	計
売上高	493	452	945	465	453	918	-28	+1	-27	-3%
営業利益	98	82	180	119	94	過去最高 213	+21	+12	+33	+19%
営業外損益	6	-4	2	4	5	9	-2	+9	+7	-
経常利益	104	78	182	123	100	過去最高 223	+19	+22	+41	+23%
特別損益	0	11	11	0	0	0	0	-11	-11	-
純利益(2)	76	63	139	88	75	過去最高 163	+12	+12	+24	+17%
EBITDA(3)	121	107	228	142	118	260	+21	+11	+32	+14%
EPS(円/株)	52.38	43.58	95.96	61.73	52.21	113.94	+9.35	+8.63	+17.98	+19%
配当(円/株)	-	-	46	-	-	50	-	-	+4	
配当総額	-	-	66	-	-	71	-	-	+5	
売上高営業利益率	19.9%	18.1%	19.0%	25.5%	20.9%	23.2%	+5.6%	+2.8%	+4.2%	
ROE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替レート(円/ドル)	108	106	107	110	110	110				
原油(JCC)(ドル/bbl)(4)	31	41	36	67	73	70				

2021上予想 (2021/5発表)		
1Q	2Q	計
400	365	765
98	79	177
4	-1	3
102	78	180
0	10	10
75	65	140
-	-	227
-	-	98.03
-	-	48
-	-	68
24.5%	21.6%	23.1%
-	-	-
107	107	107
55	55	55

(1) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2参照)

(2) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(4) 実績は財務省貿易統計ベース

2021上実績

<前年同期比>

(売上高) ◆減収 -27 億円 (-3%)
(うち会計方針の変更による売上高減少-109億円)

(営業利益) ◆増益 +33 億円 (+19%)
(うち会計方針の変更による営業利益減少-9億円、
農薬売上値引コスト増)

(経常利益) ◆増益 +41 億円 (+23%)
(特別損益) ◆減益 -11 億円

(純利益) ◆増益 +24 億円 (+17%)
(EPS) ◆増加 +17.98 円 (+19%)

(増収) 化学、機能性材料、医薬、卸売
(減収) 農業化学

(増益) 化学、機能性材料、医薬
(横ばい) 卸売
(減益) 農業化学

2021上 特別利益+28億円(有価証券売却益28億円・売却額36億円、
5銘柄(うち1銘柄保有全株数売却))
特別損失-28億円(メラミン構造改善費用、日本燐酸*設備撤去費用)
2020上 特別利益+11億円(有価証券売却益)

*日本燐酸: 当社関連会社(出資比率35%)、硫酸および燐酸液の製造・販売
燐酸液の製造停止決定に伴い、
出資比率に応じて設備撤去費用等を負担

営業利益、経常利益、純利益は過去最高益を更新

<株主還元>

(配当) ◆中間50円(前年比:4円増配、2021/5業績予想比:2円増配)

(自己株式取得) ◆70億円、1,262千株取得(2021年5月~7月)

(自己株式消却) ◆2百万株消却(2021年5月、8月)

<2021/5業績予想比>

(売上高) ◆上ぶれ +153 億円 (上ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売
(うち会計方針の変更による売上高上ぶれ(代理人取引影響額)は+106億円)

(営業利益) ◆上ぶれ +36 億円 (上ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売

(経常利益) ◆上ぶれ +43 億円

(特別損益) ◆下ぶれ -10 億円

(純利益) ◆上ぶれ +23 億円

(EPS) ◆上ぶれ +15.91 円

2021予想(3Q、4Q業績予想開示)⁽¹⁾

(億円)

	2020実績							2021予想 (2021/11発表)						
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
売上高	493	452	945	437	709	1,146	2,091	465	453	918	467	670	1,137	2,055
営業利益	98	82	180	56	189	245	425	119	94	213	94	167	261	474
営業外損益	6	-4	2	2	10	12	14	4	5	9	4	1	5	14
経常利益	104	78	182	58	199	257	439	123	100	223	98	167	265	488
特別損益(2)	0	11	11	0	5	5	16	0	0	0	0	10	10	10
純利益(3)	76	63	139	45	151	196	335	88	75	163	88	113	201	364
EBITDA(4)	121	107	228	83	219	302	530	142	118	260	-	-	319	579
EPS(円/株)	52.38	43.58	95.96	30.97	104.80	135.77	231.73	61.73	52.21	113.94	-	-	141.16	255.10
配当(円/株)	-	-	46	-	-	58	104	-	-	50	-	-	64	114
配当性向(%)	-	-	-	-	-	-	44.9	-	-	-	-	-	-	44.7
配当総額	-	-	66	-	-	84	150	-	-	71	-	-	91	162
売上高営業利益率	19.9%	18.1%	19.0%	12.8%	26.8%	21.4%	20.3%	25.5%	20.9%	23.2%	20.1%	24.9%	22.9%	23.1%
ROE	-	-	-	-	-	-	17.5%	-	-	-	-	-	-	18.1%
為替レート(円/ドル)	108	106	107	105	106	105	106	110	110	110	107	107	107	108
原油(JCC)(ドル/bbl)(5)	31	41	36	44	56	50	43	67	73	70	-	-	75	73

2021予想 (2021/5発表)				
1Q	2Q	上	下	計
400	365	765	960	1,725
98	79	177	259	436
4	-1	3	10	13
102	78	180	269	449
0	10	10	6	16
75	65	140	201	341
-	-	227	320	547
-	-	98.03	141.15	239.18
-	-	48	60	108
-	-	-	-	45.2
-	-	68	86	154
24.5%	21.6%	23.1%	27.0%	25.3%
-	-	-	-	17.0%
107	107	107	107	107
55	55	55	55	55

(1) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2参照)

(2) 2021予想(2021/11発表):10億円(有価証券売却益、メラミン構造改善費用、日本燐酸設備撤去費用)

(3) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(4) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(5) 実績は財務省貿易統計ベース

2021下予想

<前年同期比>

(売上高) ◆減収 -9 億円 (-1%)
 (うち会計方針の変更による売上高減少-97億円)

(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売
 (減収) 医薬

(営業利益) ◆増益 +16 億円 (+6%)
 (うち会計方針の変更による営業利益増加+7億円、農薬売上値引コスト減)

(増益) 化学、機能性材料、農業化学
 (減益) 医薬、卸売

(経常利益) ◆増益 +8 億円 (+3%)
 (特別損益) ◆増益 +5 億円

2021下 特別利益 +10億円(有価証券売却益)
 2020下 特別利益 +5億円(有価証券売却益)

(純利益) ◆増益 +5 億円 (+3%)
 (EPS) ◆増加 +5.39 円 (+4%)

3Q(営業利益) ◆増加 +38 億円 (+68%)

(うち会計方針の変更による営業利益増加+35億円、フルララネルロイヤリティ収入計上時期変更による増・農薬売上値引コスト減)

4Q(営業利益) ◆減少 -22 億円 (-12%)

(うち会計方針の変更による営業利益減少-28億円、フルララネルロイヤリティ収入計上時期変更による減・農薬売上値引コスト増)

<2021/5業績予想比>

(売上高) ◆上ぶれ +177 億円
 (うち会計方針の変更による売上高上ぶれ(代理人取引影響額)は+135億円)

(上ぶれ) 化学、機能性材料、卸売
 (下ぶれ) 農業化学、医薬

(営業利益) ◆上ぶれ +2 億円

(上ぶれ) 化学、機能性材料
 (下ぶれ) 農業化学、医薬、卸売

(経常利益) ◆下ぶれ -4 億円
 (特別損益) ◆上ぶれ +4 億円

(純利益) ◆予想通り
 (EPS) ◆予想通り

2021年間予想

<前年同期比>

(売上高) ◆減収 -36 億円 (-2%)
(うち会計方針の変更による売上高減少-206億円)

(営業利益) ◆増益 +49 億円 (+11%)
(うち会計方針の変更による営業利益減少-2億円、農薬売上値引コスト増)

(経常利益) ◆増益 +49 億円 (+11%)
(特別損益) ◆減益 -6 億円

(純利益) ◆増益 +29 億円 (+9%)
(EPS) ◆増加 +23.37 円 (+10%)

(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売
(減収) 医薬

(増益) 化学、機能性材料、医薬
(横ばい) 農業化学
(減益) 卸売

2021年間 特別損益+10億円(有価証券売却益、メラミン構造改善費用、
日本燐酸設備撤去費用)
2020年間 特別損益+16億円(有価証券売却益)

営業利益・経常利益は8年連続、純利益は9年連続 過去最高益を更新

<2021/5業績予想比>

(売上高) ◆上ぶれ +330 億円
(うち会計方針の変更による売上高上ぶれ(代理人取引影響額)は+241億円)

(営業利益) ◆上ぶれ +38 億円

(経常利益) ◆上ぶれ +39 億円
(特別損益) ◆下ぶれ -6 億円

(純利益) ◆上ぶれ +23 億円
(EPS) ◆上ぶれ +15.92 円

(上ぶれ) 化学、機能性材料、医薬、卸売
(下ぶれ) 農業化学

(上ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売

2021予想(2021/11) +10億円
2021予想(2021/5) +16億円

<株主還元>

(配当) ◆中間50円、期末64円(配当性向44.7%、前年比:中間4円増配、期末6円増配 2021/5業績予想比:中間2円増配、期末4円増配)
10年連続増配の見込み

(自己株式取得実績) ◆70億円、1,262千株取得(2021年5月~7月)

(自己株式消却) ◆2百万株消却(2021年5月、8月)

(総還元性向目標) ◆75%(配当114円と自己株式取得70億円に基づけば64%)

2021上実績、2021予想 営業外損益・特別損益

(億円)

	2020実績			2021予想 (2021/11発表)			増減			2021予想 (2021/5発表)		
	上	下	計	上実	下	計	上実	下	計	上	下	計
営業外収益	9.5	18.4	27.9	13.6	11.8	25.4	+4.1	-6.6	-2.5	9.2	17.5	26.7
受取利息・配当金	3.5	6.5	10.0	3.2	3.3	6.5	-0.3	-3.2	-3.5	2.8	3.7	6.5
持分法投資損益 他	6.0	11.9	17.9	10.4	8.5	18.9	+4.4	-3.4	+1.0	6.4	13.8	20.2
営業外費用	7.6	6.7	14.3	4.2	7.8	12.0	-3.4	+1.1	-2.3	6.4	6.9	13.3
支払利息	0.5	0.2	0.7	0.5	0.3	0.8	0.0	+0.1	+0.1	0.5	0.3	0.8
固定資産処分損 他	7.1	6.5	13.6	3.7	7.5	11.2	-3.4	+1.0	-2.4	5.9	6.6	12.5
営業外損益	1.9	11.7	13.6	9.4	4.0	13.4	+7.5	-7.7	-0.2	2.8	10.6	13.4
特別利益 (投資有価証券売却益)	10.9	5.0	15.9	28.2	10.0	38.2	+17.3	+5.0	+22.3	10.0	6.0	16.0
特別損失	0.0	0.0	0.0	27.9	0.0	27.9	+27.9	0.0	+27.9	0.0	0.0	0.0
特別損益	10.9	5.0	15.9	0.3	10.0	10.3	-10.6	+5.0	-5.6	10.0	6.0	16.0

2021上実績、2021予想 キャッシュフロー

(億円)

	2020上 実績	2021上 実績	2020年間 実績	2021年間予 (2021/11発表)	2021年間予 (2021/5発表)
営業キャッシュ・フロー	336	338	399	393	407
税金等調整前純利益	193	223	455	498	458
特別損益(－は益)	-11	0	-16	-10	-16
減価償却費(1)	48	47	104	105	111
法人税等の支払	-66	-74	-111	-132	-123
運転資金増減他	172	142	-33	-68	-23
投資キャッシュ・フロー	-25	-61	-128	-138	-181
設備投資	-40	-53	-82	-134	-161
投資有価証券購入・売却	15	34	29	46	19
その他(2)	0	-42	-75	-50	-39
財務キャッシュ・フロー	-328	-316	-256	-265	-274
株主還元(配当)	-70	-83	-136	-264	-257
株主還元(自己株取得)	-70	-70	-100		
借入金増減額	-188	-162	-20	0	-17
その他	0	-1	0	-1	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	-1	3	-1	0
現金及び現金同等物の増減額	-17	-40	18	-11	-48
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	0	0	9	0
現金及び現金同等物の残高	289	284	324	322	276

(1) のれん償却費を含む

(2) 2020年間実績: ダイセン事業買収-54、他-21

2021年間予想: NBR*への長期貸付金-33、他-17

*NBR: Nissan Bharat Rasayan Private Limited (p35参照)

貸借対照表

	2020/9	2021/3 (A)	2021/9 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,321	1,596	1,423	-173
現金預金	289	324	284	-40
売上債権	491	739	558	-181
たな卸資産	492	467	520	+53
その他	49	66	61	-5
固定資産	971	1,059	1,051	-8
有形固定資産	512	518	510	-8
無形固定資産	72	121	121	0
投資有価証券*	339	359	321	-38
その他	48	61	99	+38
資産合計	2,292	2,655	2,474	-181

*投資有価証券内訳

上場株式 (1)	237	244	204	-40
(単体ベース保有銘柄数)	(35)	(31)	(30)	(-1)
非上場株式	26	27	28	+1
関係会社株式	76	88	89	+1
合計	339	359	321	-38

(億円)

	2020/9	2021/3 (A)	2021/9 (B)	増減 (B) - (A)
負債	412	649	500	-149
買入債務	140	163	160	-3
借入金	58	227	65	-162
その他	214	259	275	+16
純資産	1,880	2,006	1,974	-32
株主資本	1,770	1,869	1,863	-6
その他有価証券 評価差額金	102	114	91	-23
為替換算 調整勘定	-8	1	-2	-3
非支配株主持分	16	17	18	+1
退職給付に係る 調整累計額	0	5	4	-1
負債・純資産 合計	2,292	2,655	2,474	-181

自己資本比率 81.3% 74.9% 79.1%

D/Eレシオ (2) -13.1% -5.2% -11.7%

株主資本等増減 -6 = 純利益163 - 配当その他169

(1) 21/3末 244 + 取得0 - 売却7 - 評価差額33 = 21/9末 204

(2) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

2021予想 セグメント別売上高(1)(2)(3)(4)

(億円)

	2020実績							2021予想 (2021/11発表)							増減			2021予想 (2021/5発表)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	74	73	147	83	89	172	319	88	83	171	96	97	193	364	+24	+21	+45	84	83	167	179	346
ファイン	27	27	54	28	32	60	114	32	30	62	34	37	71	133	+8	+11	+19	32	31	63	66	129
基礎	47	46	93	55	57	112	205	56	53	109	62	60	122	231	+16	+10	+26	52	52	104	113	217
機能性	171	175	346	192	178	370	716	200	196	396	205	208	413	809	+50	+43	+93	186	186	372	386	758
農業化学	146	111	257	63	318	381	638	134	116	250	112	296	408	658	-7	+27	+20	145	103	248	414	662
医薬	15	15	30	14	23	37	67	11	22	33	19	11	30	63	+3	-7	-4	9	20	29	32	61
創薬	7	8	15	6	8	14	29	6	8	14	6	4	10	24	-1	-4	-5	5	5	10	11	21
FT	8	7	15	8	15	23	38	4	15	19	13	7	20	39	+4	-3	+2	4	15	19	20	39
卸売	182	155	337	178	183	361	698	178	186	364	200	187	387	751	+27	+26	+53	165	170	335	366	701
その他	48	46	94	68	76	144	238	49	55	104	53	78	131	235	+10	-13	-3	49	54	103	131	234
調整額	-143	-123	-266	-161	-158	-319	-585	-195	-205	-400	-218	-207	-425	-825	-134	-106	-240	-238	-251	-489	-548	-1,037
合計	493	452	945	437	709	1,146	2,091	465	453	918	467	670	1,137	2,055	-27	-9	-36	400	365	765	960	1,725

- セグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある
- 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している
- 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2参照)

会計方針の変更影響(売上高)

(億円)

	2021予想(2021/11発表)						
	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
前年同期比(会計方針変更による売上高減少)	-35	-74	-109	-19	-78	-97	-206
業績予想比(会計方針変更による売上高上ぶれ (代理人取引影響額))	+55	+51	+106	-	-	+135	+241

2021予想 セグメント別営業利益(1)(2)

(億円)

	2020実績							2021予想 (2021/11発表)							増減			2021予想 (2021/5発表)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	7	-8	-1	7	9	16	15	13	-1	12	10	7	17	29	+13	+1	+14	13	-3	10	14	24
機能性	53	54	107	63	54	117	224	70	62	132	66	65	131	263	+25	+14	+39	55	61	116	122	238
農業化学	40	38	78	-13	117	104	182	41	29	70	20	92	112	182	-8	+8	0	38	20	58	118	176
医薬	-1	1	0	0	4	4	4	-2	7	5	3	-3	0	5	+5	-4	+1	-3	5	2	1	3
創薬	-2	-1	-4	-4	-2	-6	-9	-3	-2	-4	-3	-5	-8	-12	-1	-2	-3	-4	-3	-7	-8	-15
FT	2	2	4	3	6	9	13	1	8	9	7	3	9	18	+5	0	+5	1	8	9	9	18
卸売	7	5	12	7	6	13	25	7	6	13	6	4	10	23	+1	-3	-2	5	6	11	11	22
その他	0	0	0	4	4	8	8	1	-1	0	1	5	6	6	0	-2	-2	0	0	0	7	7
調整額	-8	-8	-16	-12	-5	-17	-33	-11	-8	-19	-12	-3	-15	-34	-3	+2	-1	-10	-10	-20	-14	-34
合計	98	82	180	56	189	245	425	119	94	213	94	167	261	474	+33	+16	+49	98	79	177	259	436

- (1) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある
 (2) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2参照)

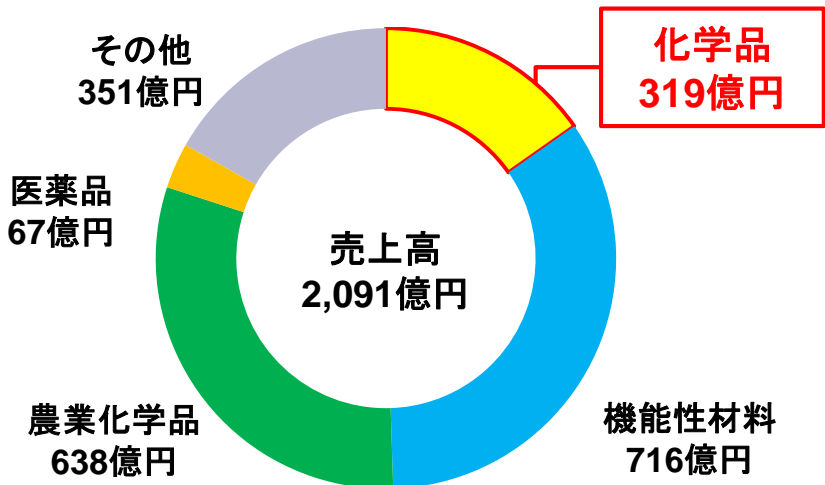
会計方針の変更影響(営業利益)

(億円)

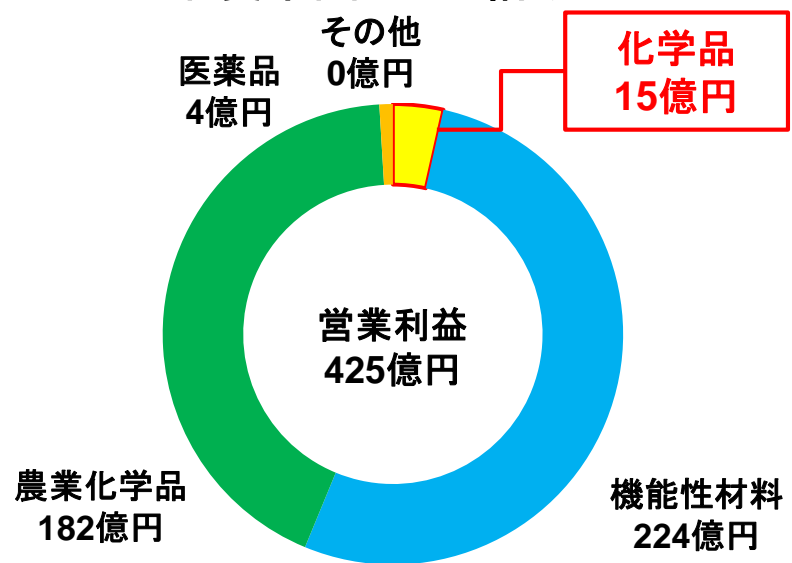
	2021予想(2021/11発表)						
	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
前年同期比(フルラネロイヤリティ収入計上時期変更による増減・ 農業売上値引コスト増減の合計)	+12	-21	-9	+35	-28	+7	-2

化学品セグメント概況- (A) 業績

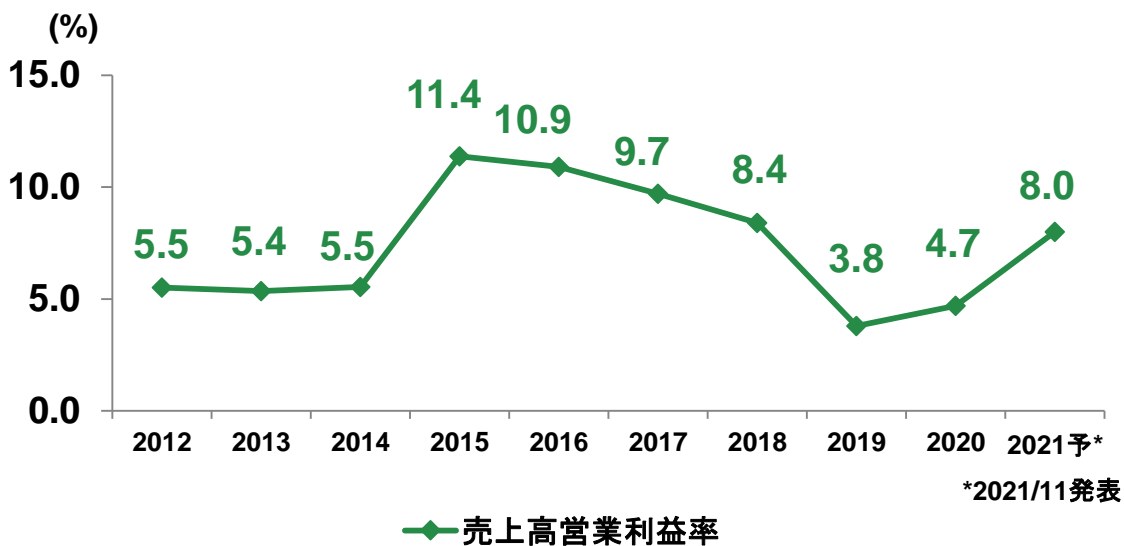
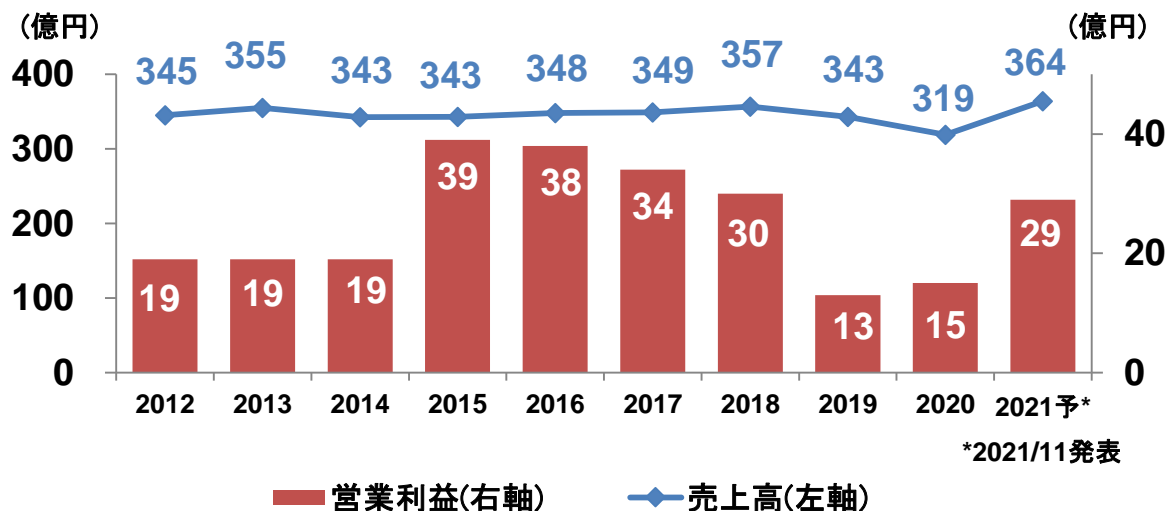
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成

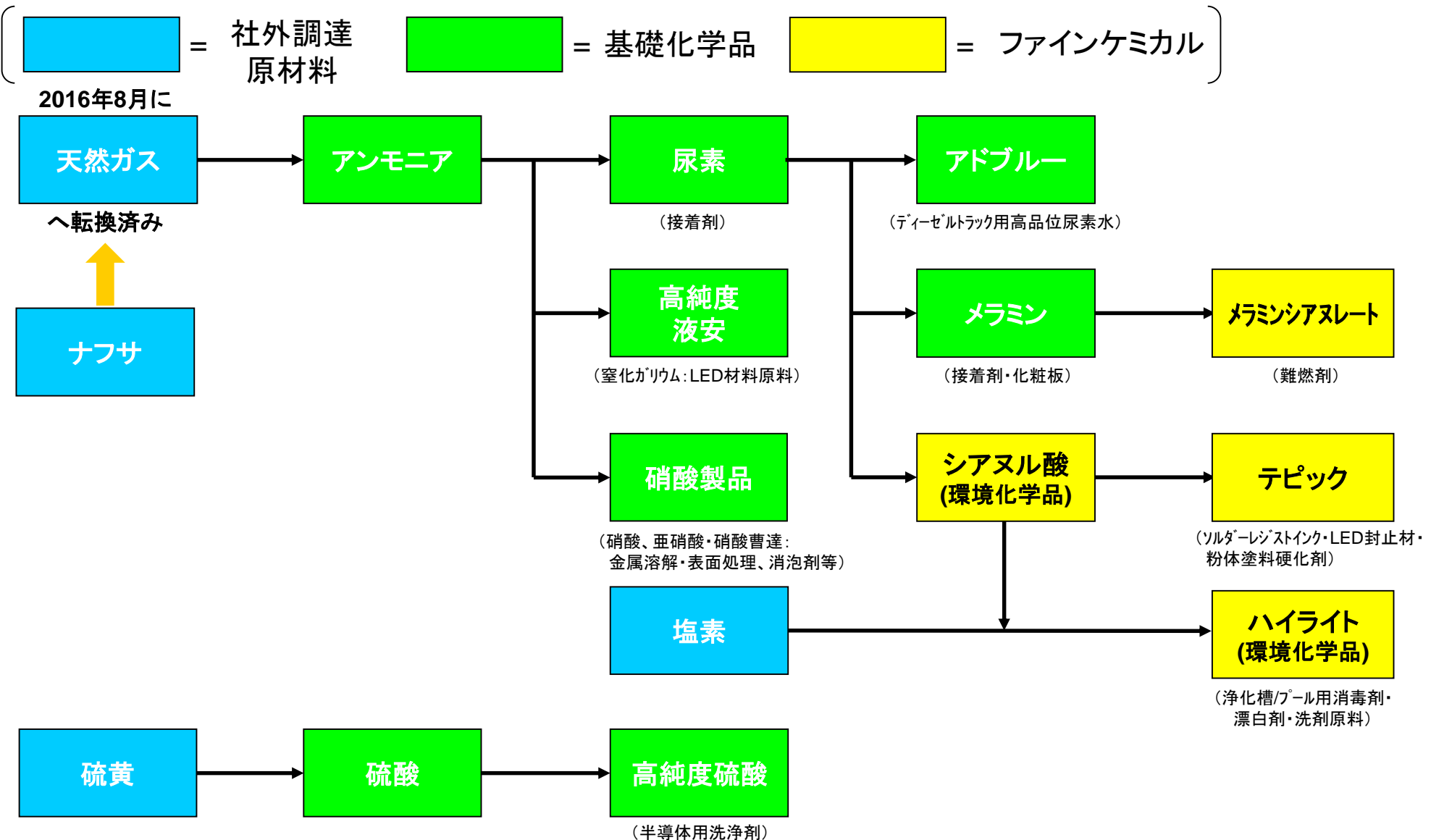


3. 化学品業績推移



化学品セグメント概況- (B) 主要製品製造フロー

- ◆ 化学品主要製品 : アンモニア系製品と硫酸系製品
- ◆ 2020年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上



化学品セグメント概況 – (C) メラミン生産停止による化学品事業の構造改革

(2021年8月発表 2021年度第1四半期決算説明資料と同じ)

1. 当社の化学品事業構成(p18参照)

グループ	主要製品
アンモニア系製品	アンモニア、尿素・アドブルー、高純度液安、メラミン、硝酸、シアヌル酸、ハイライト、テピック、メラミンシアヌレート
硫酸系製品	硫酸、精製硫酸、高純度硫酸
その他製品	ファインオキシコール等

2. 売上高・営業利益状況

(億円)

	2018-20年度合計 構成	
	売上高	営業利益
アンモニア系製品	674 (66%)	7 (12%)
硫酸系製品	345 (34%)	51 (88%)
その他製品		
化学品セグメント合計	1,019(100%)	58(100%)

→ アンモニア系製品中、メラミンが売上高最大も赤字、メラミン以外のアンモニア系製品合計利益は黒字

3. メラミンの現状と展望

下記要因から、中長期的に安定的な利益を確保することは困難、新規投資による利益拡大も望めない

- ◆世界の生産能力は、需要の2倍(当社推定)
- ◆国内の生産能力(当社含め2社)は、需要の3倍(当社推定)
- ◆価格は、足元回復基調だが、安値中国品(生産能力は世界の約7割を占める)の動向に大きく左右され、不安定

4. 対応策

- (1) 2022年6月 メラミン生産停止、在庫消滅時点で販売終了
- (2) 高付加価値、高シェア製品への資源集中等による拡販
- (3) メラミン操業員は、富山工場内で配置転換

5. 対応策の業績への影響試算

(1) メラミン関連諸費用は投資有価証券売却益で対応し影響は軽微

(2) 2023年度 化学品セグメント概算損益イメージ

(億円)

	2021年度	2023年度と2021年度予想の差異	2023年度
	予想(21/5発表)	メラミン停止影響と対応策効果	概算予想
売上高	346	+16	362
営業利益	24	+10	34

6. ESG

メラミン停止によるCO2削減量試算: -26千トン … 2018年度実績の約7%に相当(p47参照)

化学品セグメント概況－(D) 主要製品売上高成長率

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率(1)								
		2020実績			2021予想 (2021/5 発表)			2021予想 (2021/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
テピック	◆(用途) 電材向け(ソルダーレジストインキ、LED封止材) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	-10%	+7%	-1%	+21%	-6%	+6%	+26%	+5%	+14%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	-9%	+3%	-4%	+19%	+29%	+24%	+10%	+29%	+19%
ファインケミカル合計 上記2製品の2020年度実績ファインケミカル売上高に占める割合: 74%		+3%	+15%	+9%	+17%	+9%	+13%	+15%	+17%	+16%
メラミン	◆(用途) 接着剤、化粧板	-55%	-33%	-44%	+13%	-2%	+4%	+41%	+34%	+37%
尿素・ アドブルー	◆(用途) 接着剤、 ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	-5%	+6%	0%	+15%	+3%	+8%	+14%	+8%	+11%
高純度 硫酸	◆(用途) 半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	+14%	+10%	+12%	+9%	+4%	+6%	+10%	+3%	+7%
硝酸製品	◆硝酸、亜硝酸・硝酸曹達 (用途) 金属溶解・表面処理、消泡剤等	-2%	+13%	+5%	+16%	0%	+7%	+20%	+2%	+10%
基礎化学品合計 上記4製品の2020年度実績基礎化学品売上高に占める割合: 53%		-20%	-9%	-14%	+12%	+1%	+6%	+17%	+10%	+13%

(1) 2020年度よりファインオキシコール(化粧品原料等)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

化学品セグメント概況 - (E-1)セグメント収益動向

(億円)

	2020実績(A)							2021予想 (2021/5発表)					2021予想(B) (2021/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	74	73	147	83	89	172	319	84	83	167	179	346	88	83	171	96	97	193	364	+24	+21	+45
◆ ファイン	27	27	54	28	32	60	114	32	31	63	66	129	32	30	62	34	37	71	133	+8	+11	+19
◆ 基礎	47	46	93	55	57	112	205	52	52	104	113	217	56	53	109	62	60	122	231	+16	+10	+26
営業利益	7	-8	-1	7	9	16	15	13	-3	10	14	24	13	-1	12	10	7	17	29	+13	+1	+14

2021 1Q実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(輸出回復)・電材(車載向け回復)、環境(シアヌル酸能力増強)
- ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: メラミン国内・輸出(需要回復)、硝酸製品(需要回復)、尿素・アドブルー(需要回復)、高純度硫酸(半導体向け好調)
- ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高+14億円、営業利益+6億円

<2021/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般
- ◆ 売上高下ぶれ: テピック電材、環境
- ◆ 売上高予想通り、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: メラミン輸出、硝酸製品
- 売上高予想通り: 高純度硫酸、尿素・アドブルー
- 売上高下ぶれ: メラミン国内
- ◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高+4億円、営業利益予想通り

2021 2Q実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(輸出回復)・電材(車載向け回復)
- ◆ 減収: 環境(シアヌル酸増収、プール・スパ向け減収)
- ◆ 原燃料高
- ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 硝酸製品(需要回復)、尿素・アドブルー(需要回復)、メラミン国内・輸出(需要回復)、高純度硫酸(半導体向け好調)
- ◆ 在庫変動影響(プラス要因)、原燃料高
- ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高+10億円、営業利益+7億円

<2021/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般
- ◆ 売上高予想通り: テピック電材
- ◆ 売上高下ぶれ: 環境
- ◆ 固定費下ぶれ(プラス要因)
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: 硝酸製品、高純度硫酸
- ◆ 売上高予想通り: メラミン(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)、尿素・アドブルー
- ◆ 在庫変動影響(プラス要因)、原燃料高
- ◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高予想通り、営業利益+2億円

化学品セグメント概況 – (E-2)セグメント収益動向

2021上実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(輸出回復)・電材(車載向け回復)、環境(シアヌル酸能力増強)
◆ 固定費増加、原燃料高
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: メラミン国内・輸出(需要回復)、硝酸製品(需要回復)、尿素・アドブルー、高純度硫酸(半導体向け好調)
◆ 固定費増加、原燃料高
◆ 在庫変動影響(プラス要因)
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高+24億円、営業利益+13億円

< 2021/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般(輸出好調)
◆ 売上高下ぶれ: テピック電材、環境
◆ 固定費下ぶれ(プラス要因)、原燃料高
◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: メラミン輸出、硝酸製品
◆ 売上高予想通り: 高純度硫酸、尿素・アドブルー
◆ 売上高下ぶれ: メラミン国内
◆ 原燃料高
◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高+4億円、営業利益+2億円

2021下予想

<前年同期比>

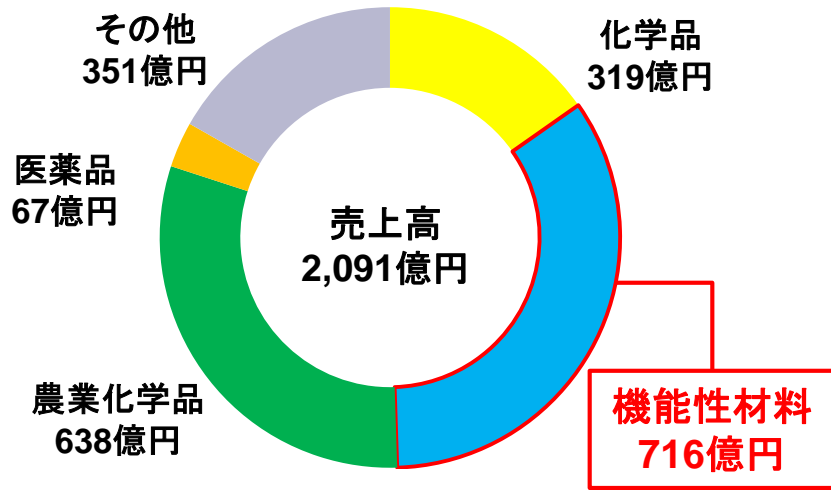
- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般、環境(シアヌル酸能力増強、輸出回復)
◆ 横ばい: テピック電材
◆ 固定費増加、原燃料高
◆ 在庫変動影響(プラス要因)
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: メラミン国内・輸出、尿素・アドブルー、高純度硫酸(半導体向け好調)、硝酸製品
◆ 原燃料高
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高+21億円、営業利益+1億円

< 2021/5業績予想比>

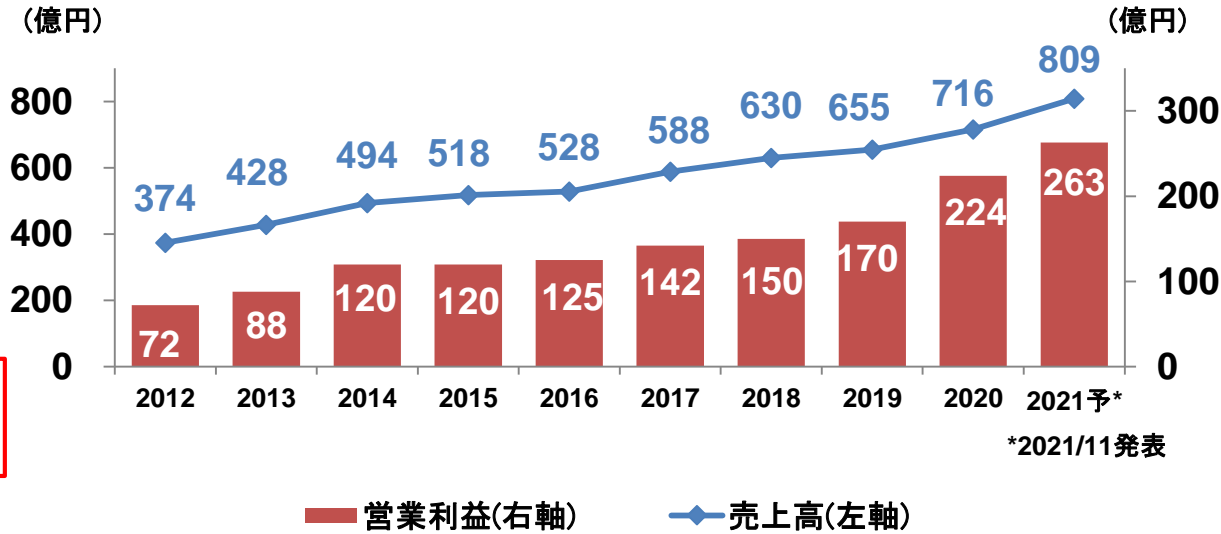
- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般(輸出好調)
◆ 売上高予想通り: テピック電材、環境
◆ 固定費上ぶれ(マイナス要因)、原燃料高
◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
◆ 売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: メラミン国内・輸出、尿素・アドブルー、硝酸製品
◆ 売上高予想通り: 高純度硫酸
◆ 原燃料高
◆ 在庫変動影響(プラス要因)
◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高+14億円、営業利益+3億円

機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

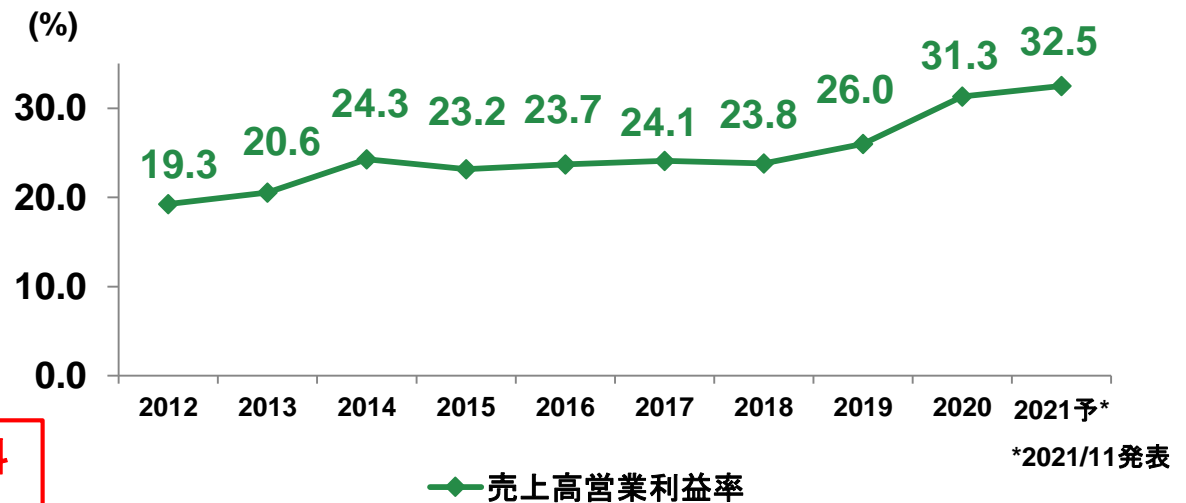
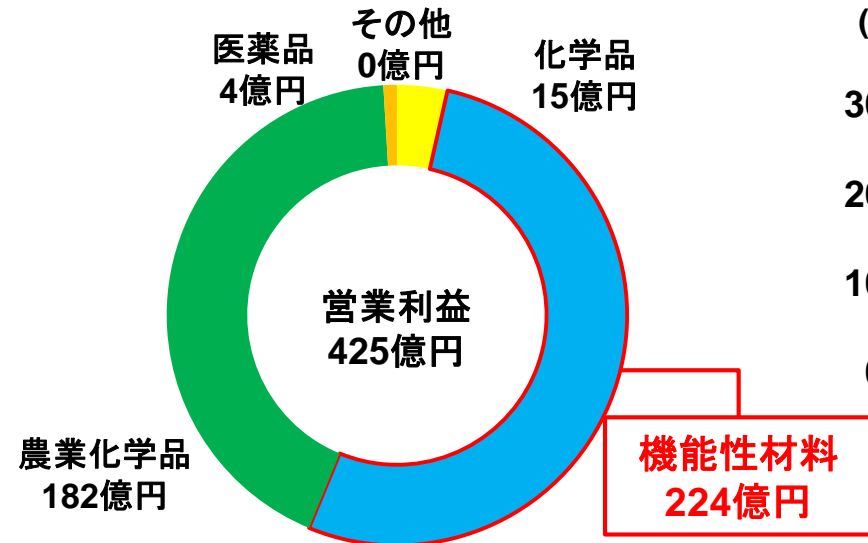
1. 2020年度 売上高構成



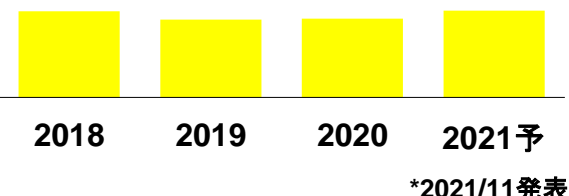
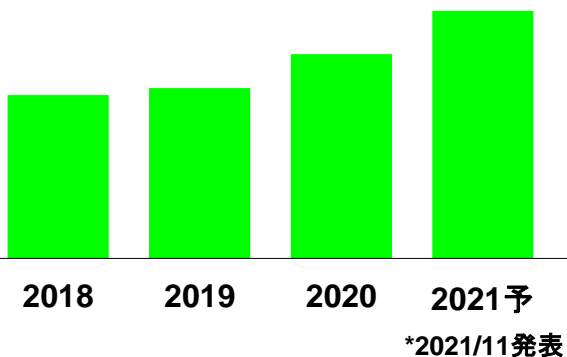
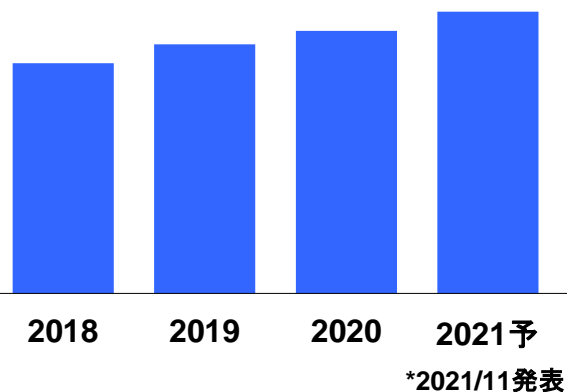
3. 機能性材料業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



機能性材料セグメント概況 – (B) 2018-2021年度 売上高構成推移



< ディスプレイ材料 >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

< 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材
 多層材料：半導体用多層プロセス材料
 (OptiStack®)

その他
 新材料：EUV材料、三次元実装材
 CMOSイメージセンサー材料等

< 無機コロイド >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、
 化合物半導体、半導体CMP等)
 特殊鋼板

オルガノゾル・
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、
 樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス採掘効率向上材

機能性材料セグメント概況 – (C) 主要製品売上高成長率

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率									
	2020実績			2021予想 (2021/5 発表)			2021予想 (2021/11 発表)			
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計	
サンエバー	+7%	+4%	+5%	+5%	0%	+2%	+7%	+6%	+7%	
ディスプレイ材料合計	+7%	+4%	+5%	+5%	+1%	+3%	+7%	+7%	+7%	
ARC® 小計	KrF (ARC®)	+14%	+14%	+14%	+2%	-2%	0%	+22%	+12%	+17%
	ArF (ARC®)	+16%	+15%	+16%	+11%	+11%	+11%	+21%	+22%	+22%
ARC® 小計	+16%	+15%	+16%	+10%	+9%	+9%	+22%	+21%	+21%	
その他半導体材料 計(1)	+51%	+16%	+31%	+7%	+14%	+11%	+17%	+24%	+21%	
半導体材料合計	+25%	+15%	+20%	+9%	+10%	+10%	+20%	+22%	+21%	
スノーテックス	+2%	+9%	+5%	+9%	+5%	+7%	+19%	+6%	+12%	
オルガノゾル・モノマーゾル	-15%	-1%	-8%	+7%	-2%	+2%	+26%	+2%	+13%	
オイル & ガス材料	-91%	+123%	+18%	+1,483%	-39%	+17%	+1,093%	-41%	+1%	
無機コロイド合計	-8%	+10%	+1%	+13%	-2%	+5%	+23%	-1%	+10%	
上記3製品の2020年度連結無機売上高に占める割合: 83%										

(1) 多層材料(OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

*NCK: 連結子会社(韓国)、DP・半導体材料のR&D・製造・販売

◆ 半導体材料 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資

主要投資(承認ベース):

14年 評価機器11億円

15年 開発設備28億円・評価機器8億円、増強8億円、NCK*7億円、半導体材料研5億円

16年 NCK*26億円、評価機器10億円、半導体材料研4億円

17年 半導体材料研4億円

18年 ARC®増強2億円、製造試験設備2億円

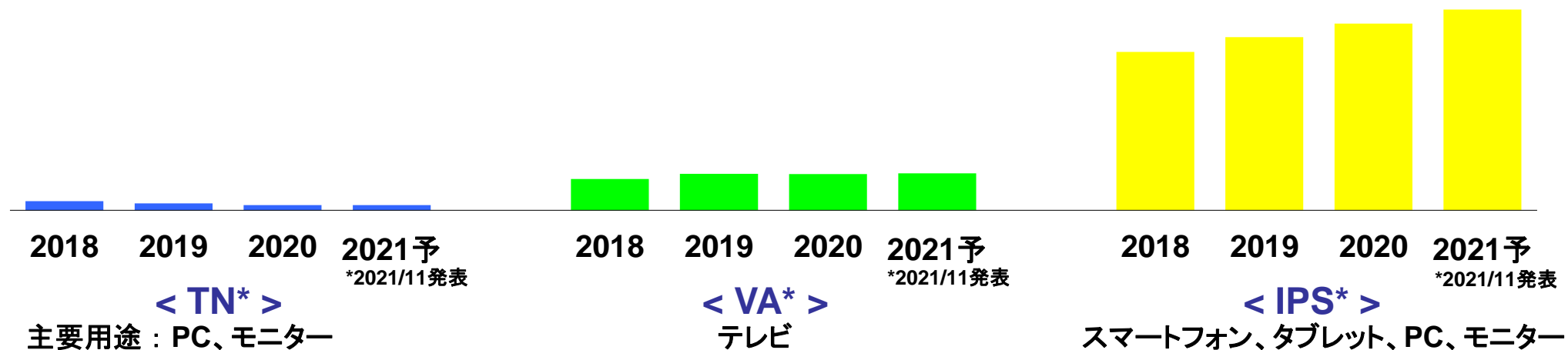
19年 半導体材料研1億円、製造試験設備1億円

20年 評価機器10億円、ARC®増強2億円、半導体材料研2億円、製造試験設備1億円

21年 製造試験設備3億円、ARC®増強1億円、半導体材料研1億円、評価機器1億円

機能性材料セグメント概況 – (D) サンエバー

<モード別売上高推移>



<モード別前年同期比売上高成長率>

	2020実績			2021予想 (2021/5発表)			2021予想 (2021/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
TN	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓	↓↓	↓↓	↗	↓	↓
VA	↓	↗	↓	↗	↗	↗	↓	↗	↗
IPS	↗↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗
合計	+7%	+4%	+5%	+5%	0%	+2%	+7%	+6%	+7%

前年同期比売上高増減

+20~+29%	↗↗↗
+10~+19%	↗↗
+0~+9%	↗
-0~-9%	↓
-10~-19%	↓↓↓
-20~-29%	↓↓↓↓

*TN : Twisted Nematic, VA : Vertical Alignment, IPS : In-Plane Switching

機能性材料セグメント概況 – (E-1) セグメント収益動向

(億円)

	2020実績(A)							2021予想 (2021/5発表)					2021予想(B) (2021/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	171	175	346	192	178	370	716	186	186	372	386	758	200	196	396	205	208	413	809	+50	+43	+93
営業利益	53	54	107	63	54	117	224	55	61	116	122	238	70	62	132	66	65	131	263	+25	+14	+39

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2021 1Q実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(スマホ、非スマホ好調)、ラビングIPS減収、VA減収、TN減収
固定費増加2億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
半導体市場全般好調
固定費増加2億円
- ◆ 無機増収、増益
スノーテックス増収(一般用途・研磨材増収)
オルガノ・モノマーゾル増収
オイル&ガス材料増収(シェールオイル市場回復)
固定費増加2億円
- ◆ 固定費増加合計6億円
- ◆ 売上高+29億円、営業利益+17億円

< 2021/5業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(スマホ、非スマホ上ぶれ)、ラビングIPS上ぶれ、
VA下ぶれ、TN上ぶれ
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、その他上ぶれ(多層材料・その他新材料上ぶれ)
半導体市場全般好調
固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途・研磨材上ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ
オイル&ガス材料下ぶれ
固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+14億円、営業利益+15億円

2021 2Q実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS増収、VA増収、TN増収
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料横ばい・その他新材料増収)
半導体市場全般好調、固定費増加1億円
- ◆ 無機増収、減益
スノーテックス増収(一般用途・研磨材増収)
オルガノ・モノマーゾル増収
オイル&ガス材料増収
固定費増加1億円
- ◆ 固定費増加合計2億円
- ◆ 売上高+21億円、営業利益+8億円

< 2021/5業績予想比>

- ◆ DP売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS下ぶれ(スマホ下ぶれ、非スマホ上ぶれ)、ラビングIPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、
VA下ぶれ、TN上ぶれ
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、その他上ぶれ(多層材料・その他新材料上ぶれ)
半導体市場全般好調、固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途・研磨材上ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ
オイル&ガス材料下ぶれ
在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- ◆ 固定費上ぶれ合計1億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+10億円、営業利益+1億円

機能性材料セグメント概況 – (E-2) セグメント収益動向

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2021上実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収、VA減収、TN増収
固定費増加1億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
半導体市場全般好調、固定費増加4億円、在庫変動影響+1億円(プラス要因)
- ◆ 無機増収、増益
スノーテックス増収(一般用途・研磨材増収)
オルガノ・モノマーゾル増収
オイル&ガス材料増収
固定費増加3億円
- ◆ 固定費増加合計8億円
- ◆ 売上高+50億円、営業利益+25億円

< 2021/5業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(非スマホ好調)、ラビングIPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、
VA下ぶれ、TN上ぶれ
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、その他上ぶれ(多層材料・その他新材料上ぶれ)
半導体市場全般好調、固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途・研磨材上ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ
オイル&ガス材料下ぶれ
固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計1億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+24億円、営業利益+16億円

2021下予想

<前年同期比>

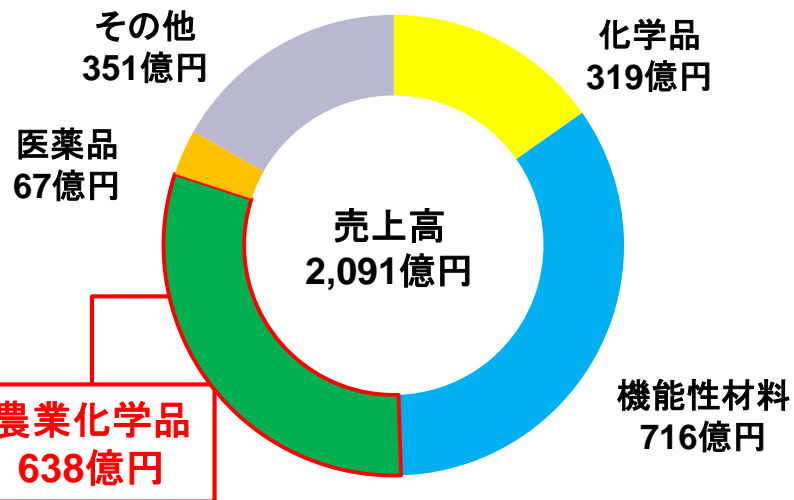
- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収、VA増収、TN減収
固定費増加1億円、在庫変動影響+1億円(プラス要因)
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
半導体市場好調維持、固定費増加6億円
- ◆ 無機減収、減益
スノーテックス増収(一般用途増収・研磨材減収)
オルガノ・モノマーゾル増収
オイル&ガス材料減収
固定費増加4億円
- ◆ 固定費増加合計12億円(共通費用増加1億円含む)
- ◆ 売上高+43億円、営業利益+14億円

< 2021/5業績予想比>

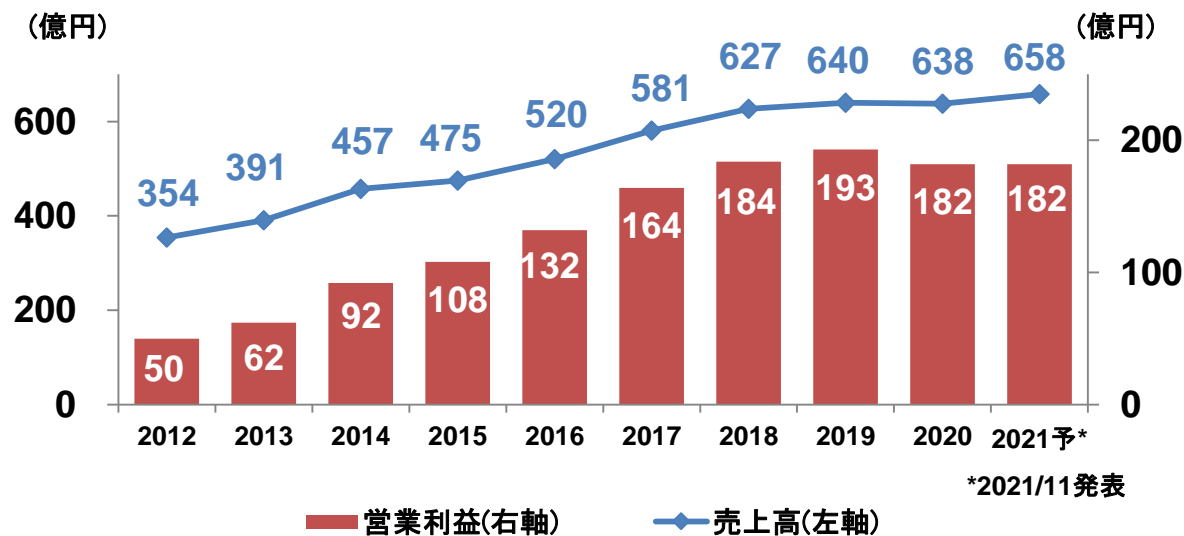
- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、ラビングIPS下ぶれ、
VA上ぶれ、TN上ぶれ
固定費上ぶれ4億円(マイナス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、その他上ぶれ(多層材料・その他新材料上ぶれ)、
半導体市場好調維持、固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途上ぶれ・研磨材下ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ
オイル&ガス材料下ぶれ
固定費下ぶれ1億円(プラス要因)、在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- ◆ 固定費上ぶれ合計5億円(マイナス要因)(共通費用上ぶれ1億円含む)
- ◆ 売上高+27億円、営業利益+9億円

農業化学品セグメント概況- (A) 業績

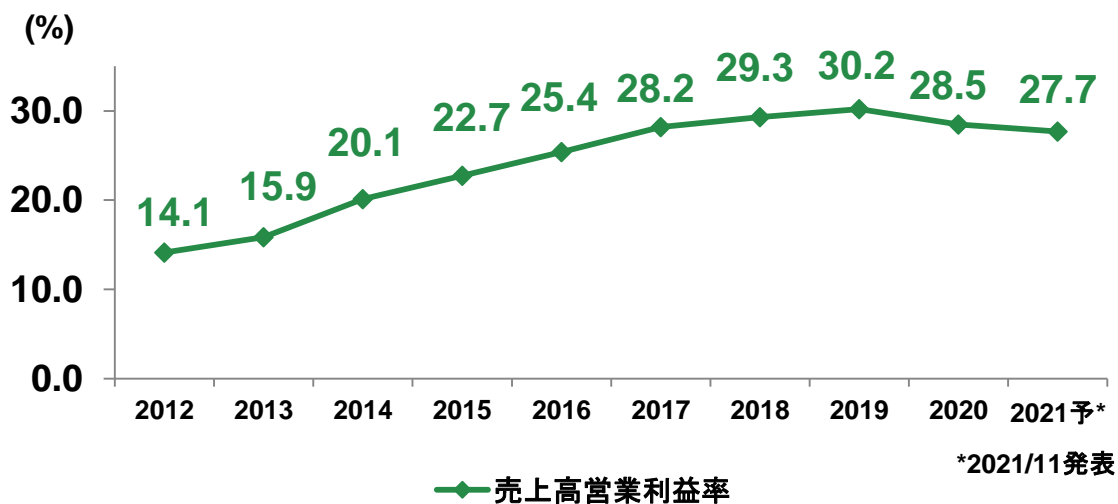
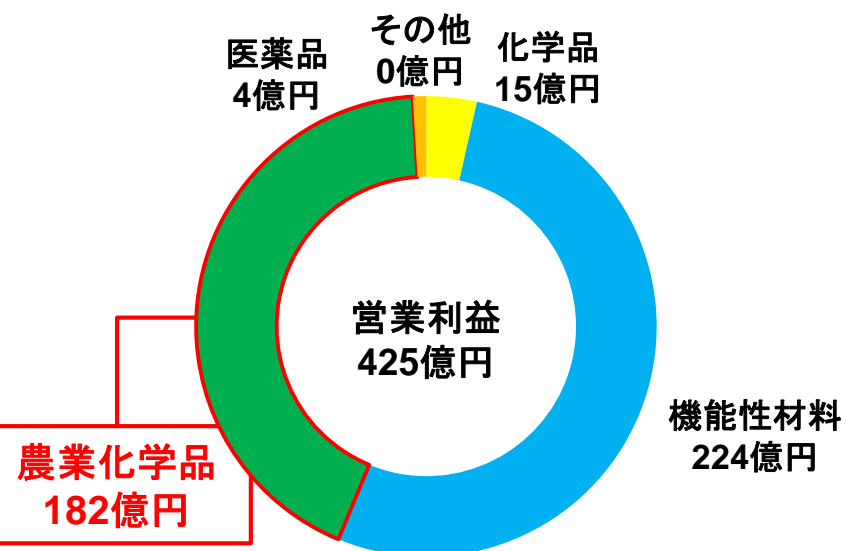
1. 2020年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



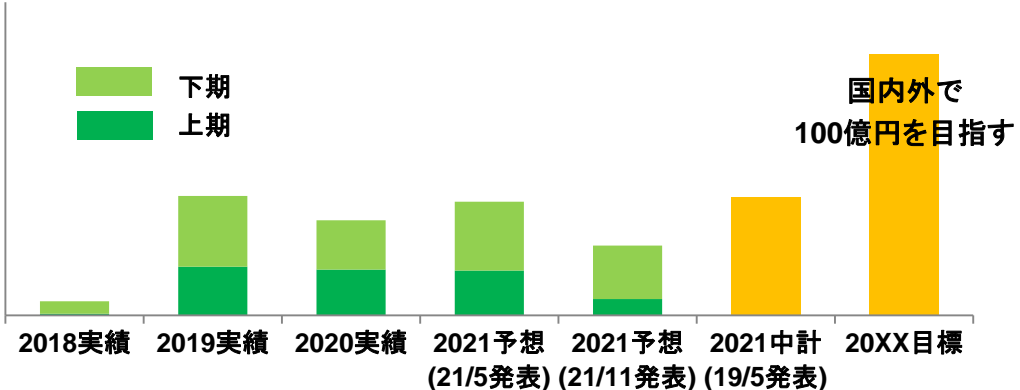
農業化学品セグメント概況- (B) 主要製品売上高成長率(値引前)

◆国内農薬販売額第1位 (2018年10月～2019年9月)

主要製品名 (2020年売上高順)	種類	前年同期比 連結売上高成長率							
		2020実績			2021予想 (2021/5発表)	2021予想 (2021/11発表)			
		上	下	計	計	上実績	同左計画比 (2021/5作成、 非開示)	下	計
ラウンドアップ(1)	除草	-1%	+2%	0%	+4%	+4%	下ぶれ	+3%	+3%
フルララネル	動物薬	-20%	+2%	-12%	-11%	-9%	上ぶれ	+5%	-3%
アルテア	除草	+21%	+8%	+11%	0%	-28%	下ぶれ	0%	-7%
タルガ	除草	-11%	+10%	-1%	+1%	+20%	上ぶれ	+8%	+14%
グレーシア	殺虫	-6%	-30%	-20%	+20%	-64%	下ぶれ	+9%	-27%
パーミット	除草	-26%	+18%	+8%	-22%	+31%	予想通り	-18%	-10%
ライメイ	殺菌	+26%	+19%	+20%	+22%	+13%	下ぶれ	+35%	+29%
クインテック	殺菌	-	-28%	-8%	+61%	+115%	予想通り	+16%	+38%
ダイセン	殺菌	-	-	-	+200%以上	-	下ぶれ	+99%	+200%以上
農業化学品 セグメント合計	-	-7%	+5%	0%	+4%	0%	下ぶれ	+5%	+3%

◆グレーシア売上高長期成長予想

(1) ラウンドアップ:2020年1月22日開催 ラウンドアップの現状説明会資料参照
https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf
 マックスロードALは2020年度ラウンドアップ売上高全体の22%を占める



農業化学品セグメント概況 – (C)直近の農薬製品買収

◆クインテック(キノキシフェン)

- ・2019年11月米国コルテバ社より事業を買収
- ・2019年12月販売開始
- ・クインテック = キノキシフェン(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

◆ダイセン(マンゼブ)

- ・2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収
- ・2021年1月国内販売開始
- ・ダイセン = マンゼブ(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹(特にりんご、かんきつ)・野菜用保護殺菌剤、耐雨性に優れる
- ・監査後無形固定資産の償却期間は、資産の種類別に5年・16年(定額法)(加重平均15.6年)で確定(監査前は5年で仮計算)

＜ダイセン収益予想＞ (億円)

年度	営業利益	償却前営業利益
2020	3	4
2021	7	11
2022-26計	36	53

農業化学品セグメント概況- (D) 主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2009	プレバソン	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤 2016年AL II、2018年AL III上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けにブラベクト原薬として出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジェンタ社より導入
2017	トランスフォーム™/エクシード™/ ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2017	エグゾルト**	家畜動物用医薬品	-	9月米国MSD社による、欧州でのニワトリ用製品上市
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない 2018年韓国で上市(ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収 果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収 果樹野菜用の保護殺菌剤、耐雨性に優れる

新製品パイプライン

2023	未定(ピラプロポイン)(NC-241)	殺菌剤	自社開発	汎用性(ピーク時売上高目標50億円)
2024	未定(ジメスルファゼット)(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや 難防除雑草クログワイに高い効果を持つ (ピーク時売上高目標30億円)
2027	未定(NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ、アゼガヤ)に優れた効果を持つ 当社初の水稲用茎葉散布除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

**ブラベクト、エグゾルト:MSD社の販売製品名

◆2020年度連結実績 輸出比率:39%(アジア25%、欧州・アフリカ60%、北・中南米15%) ※フルララネルを含める

新製品群(グレーシア、クインテック、ダイセン、NC-241、653、656)のピーク売上高目標合計330億円

農業化学品セグメント概況 – (E-1) フルララネル

◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社*に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国以上で販売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - ・UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間**にわたって持続する

**クリイロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市、2019年7月中国上市

2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市

- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

(猫)2016年7月欧州、以降米国、日本等上市

(犬)2017年1月米国・欧州等上市、2021年1月日本上市

◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月欧州、以降米国等上市

2021年1月日本上市

◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市

2021年7月日本上市

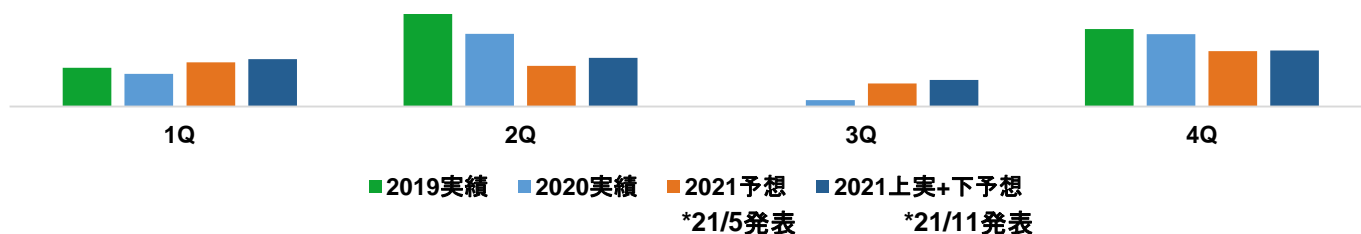


農業化学品セグメント概況 – (E-2) フルララネル

◆当社売上高構成

MSD社へのフルララネル販売、MSD社からのランニングロイヤリティ(RR)収入

◆2019～2021年四半期別売上高推移(ロイヤリティ収入含む)



◆2021年度よりRR売上高計上基準変更(p2参照)

(2020年度まで)MSD売上高1-6月分:8月計上、同7-12月分:2月計上

(2021年度より)MSD売上高1-3月分:5月計上、同4-6月分:8月計上、

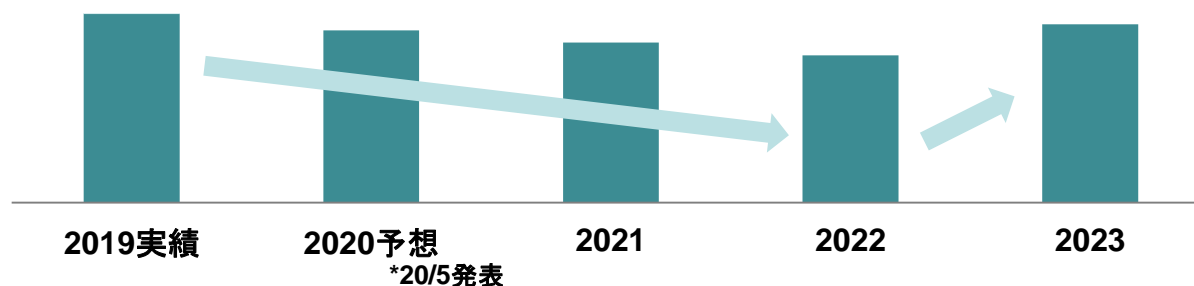
同7-9月分:11月計上、同10-12月分:2月計上

◆2019～2023年売上高推移イメージ(2020年5月発表 2019年度決算説明資料と同じ)

・ブラベクト売上高は順調に成長

・一方、フルララネルは在庫調整が継続すると見られ、

売上高(ロイヤリティ収入含む)は2022年まで減少、2023年に回復の見込み



◆フルララネルの在庫調整は進んでいるが、現時点では上記シナリオの修正はない

◆ブラベクトの開発分野

ペット向けに新たな内外寄生虫薬等、家畜向け経皮投与剤を開発中

農業化学品セグメント概況－(F) インド合弁会社の設立

(2020年5月発表 2019年度決算説明資料と同じ)

Nissan Bharat Rasayan Private Limited (NBR) 概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon) (ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設(土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農薬(グレーシア、ライメイ、クインテック等)原体を製造し、当社へ販売
従業員数	150-200名(2022年想定)
工場稼働予定	2022年度2Q
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

<資金計画(億円)>

設備投資	43	資本金(15億ルピー)	23
運転資金他	24	当社貸付	33
		現地銀行借入	11
所要資金合計	67	資金調達合計	67

Bharat Rasayan Ltd (BRL) 概要

設立	1989年(インド大手農薬製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.8%
損益状況	2020年度売上高10,920百万ルピー、税引後利益1,639百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana)ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Insecticides Ltd(BIL)がタルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

<当社連結営業利益への貢献予想(概算、億円)>

年度	2021	2022	2023	2024	2025
営業利益	-3	5	12	20	32

当社メリット

- ・信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- ・有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- ・国内工場に比べて低い製造コスト
- ・すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- ・既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

(白紙)

農業化学品セグメント概況 – (G-1) セグメント収益動向(1)

(億円)

	2020実績(A)							2021予想 (2021/5発表)					2021予想(B) (2021/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	146	111	257	63	318	381	638	145	103	248	414	662	134	116	250	112	296	408	658	-7	+27	+20
営業利益	40	38	78	-13	117	104	182	38	20	58	118	176	41	29	70	20	92	112	182	-8	+8	0

(1) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(フルララネルロイヤリティ収入計上時期変更による増減・農薬売上値引コスト増減)(p2参照)

2021 1Q実績

<前年同期比>

- ◆ 増収:フルララネル(会計方針の変更によるロイヤリティ計上)、ダイセン(20年4Q販売開始)、クインテック(輸出)、ライメイ(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 横ばい:ラウンドアップ(ML:減収、AL:増収)
- ◆ 減収:グレーシア(国内・輸出)、アルテア(国内)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費増加1億円
- ◆ 在庫変動影響+3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-12億円、営業利益+1億円
(会計方針の変更による売上高増加+12億円、営業利益増加+12億円)

< 2021/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:フルララネル(ロイヤリティ収入上ぶれ)、クインテック(輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 売上高予想通り:パーミット、ライメイ、ダイセン
- ◆ 売上高下ぶれ:ラウンドアップ(ML)、グレーシア(国内)、アルテア(国内)
- ◆ 固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響+4億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-11億円、営業利益+3億円

2021 2Q実績

<前年同期比>

- ◆ 増収:タルガ(輸出好調)、ダイセン(20年4Q販売開始)、ラウンドアップ(ML・AL)、アルテア(国内・輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 減収:フルララネル(会計方針の変更、ブラベクト在庫調整影響)、クインテック(輸出)、グレーシア(国内)、ライメイ(国内)
- ◆ 固定費増加5億円
- ◆ 在庫変動影響+3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+5億円、営業利益-9億円
(会計方針の変更による売上高減少-21億円、営業利益減少-21億円)

< 2021/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:フルララネル(ロイヤリティ収入上ぶれ)、タルガ(輸出好調)、ラウンドアップ(ML・AL)、アルテア(国内・輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ:グレーシア(害虫発生小)、ライメイ(輸出)、ダイセン(輸出)、クインテック(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+13億円、営業利益+9億円

農業化学品セグメント概況 – (G-2) セグメント収益動向

2021上実績

<前年同期比>

- ◆ 増収:ダイセン(20年4Q販売開始)、タルガ(輸出好調)、クインテック(輸出)、ラウンドアップ(ML:横ばい、AL:増収)、パーミット(輸出)、ライメイ(輸出)
- ◆ 減収:グレーシア(害虫発生小)、アルテア(国内)、フルララネル(ロイヤリティ増収、プラベクト在庫調整影響)
- ◆ 棚卸評価損+1億円(プラス要因)
- ◆ 固定費増加6億円
- ◆ 在庫変動影響+6億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-7億円、営業利益-8億円
(会計方針の変更による売上高減少-9億円、営業利益減少-9億円)

< 2021/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:フルララネル(ロイヤリティ収入上ぶれ)、タルガ(輸出好調)
- ◆ 売上高予想通り:クインテック(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ:グレーシア(害虫発生小)、ラウンドアップ(ML:下ぶれ、AL:上ぶれ)、アルテア(国内)、ライメイ(国内・輸出)、ダイセン(輸出)
- ◆ 固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響+4億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+2億円、営業利益+12億円

2021下予想

<前年同期比>

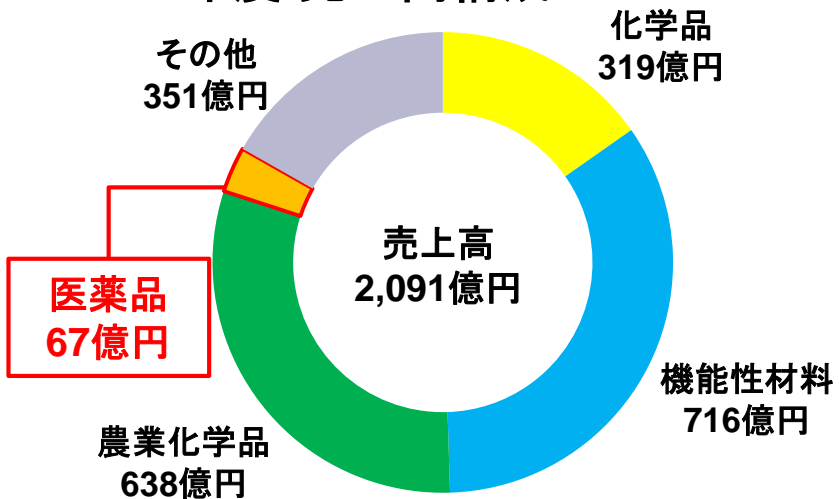
- ◆ 増収:ダイセン(20年4Q販売開始)、ライメイ(輸出)、フルララネル(ロイヤリティ増収)、ラウンドアップ(ML・AL)、タルガ(輸出好調)、グレーシア(国内減収、輸出増収)、クインテック(輸出)
- ◆ 横ばい:アルテア(国内増収、輸出減収)
- ◆ 減収:パーミット(輸出)
- ◆ 棚卸評価損+2億円(プラス要因)
- ◆ 固定費増加8億円
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+27億円、営業利益+8億円
(会計方針の変更による売上高増加+7億円、営業利益増加+7億円)

< 2021/5業績予想比>

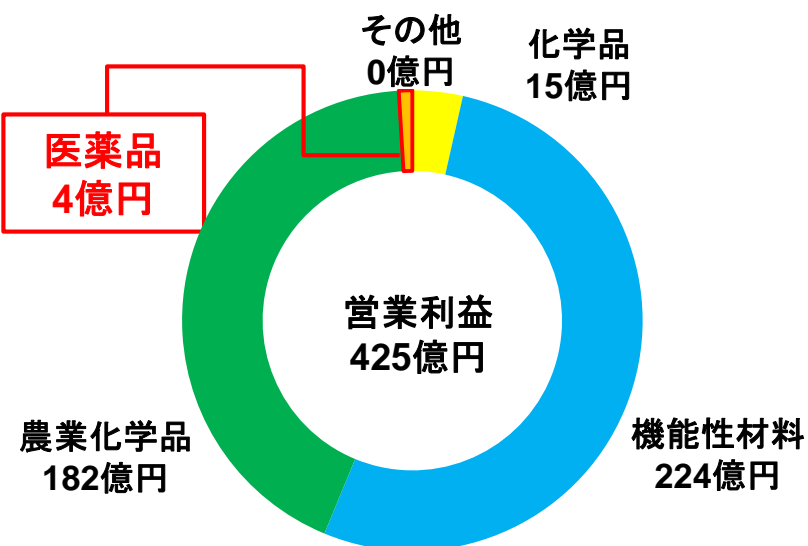
- ◆ 売上高上ぶれ:パーミット(輸出)、フルララネル(原薬・ロイヤリティ収入上ぶれ)、ライメイ(国内・輸出)、ラウンドアップ(ML:上ぶれ、AL:下ぶれ)
- ◆ 売上高予想通り:タルガ(輸出好調)
- ◆ 売上高下ぶれ:グレーシア(国内)、アルテア(国内・輸出)、クインテック(輸出)、ダイセン(国内・輸出)
- ◆ 固定費上ぶれ3億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響+5億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-6億円、営業利益-6億円

医薬品セグメント概況 – (A) 業績

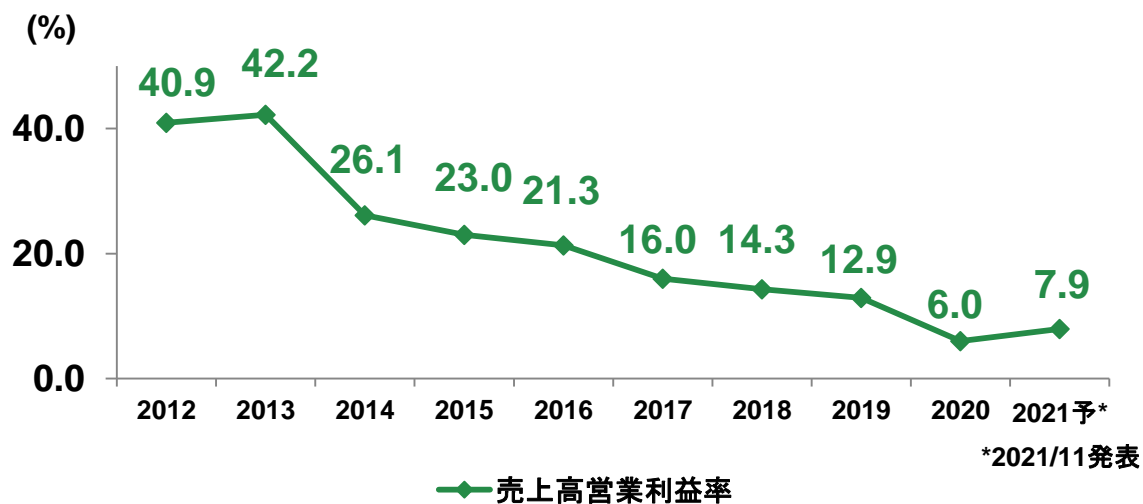
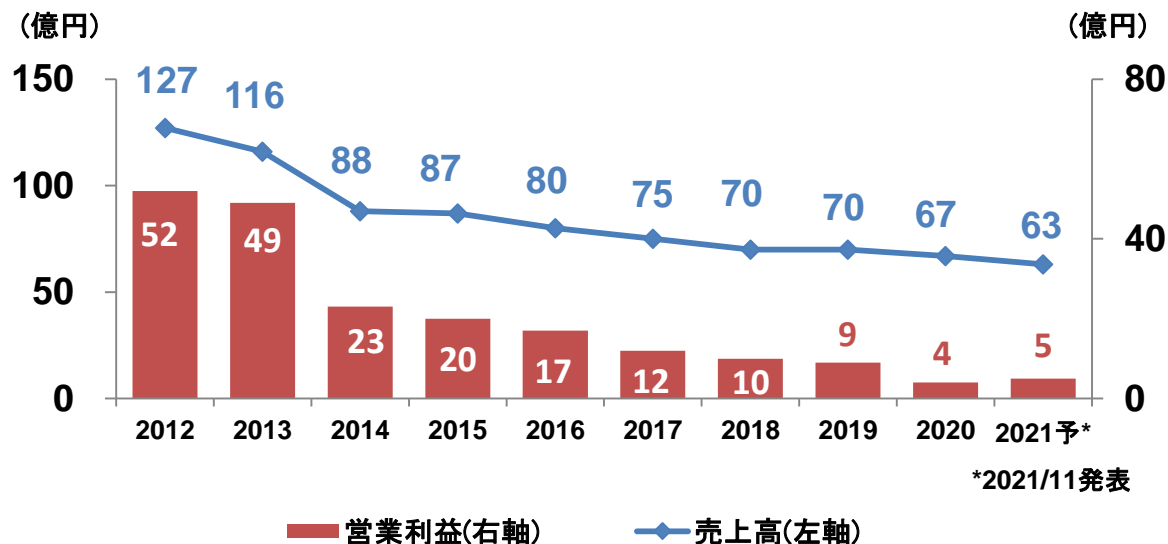
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成

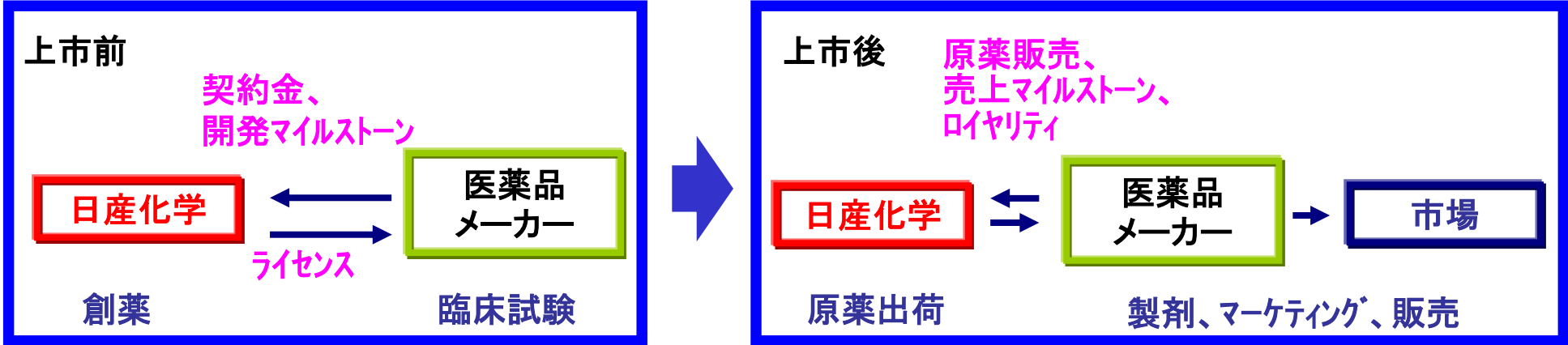


3. 医薬品業績推移



医薬品セグメント概況 – (B) 新薬ビジネスモデルとリバロ

◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル



◆ リバロ原薬(高コレステロール血症治療薬)

売上高	2013 実績	2014 実績
国内末端 (薬価ベース、億円)	526	345
当社原薬 (国内外合計、億円)	102	69
当社原薬 前年同期比成長率	-2%	-32%
(うち国内)	(-2%)	(-46%)
(うち海外)	(-1%)	(+21%)

2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021予想 (2021/5発表)	2021予想 (2021/11発表)
167	143	120	-	-
43	40	28	20	23
-11%	-7%	-30%	-27%	-17%
(-53%)	(+105%)	(+6%)	(-13%)	(+47%)
(-6%)	(-14%)	(-35%)	(-30%)	(-32%)

- 2013年8月 国内物質特許満了
- 2020年8月 欧州で市場独占期間満了
- 現在28か国で販売中

医薬品セグメント概況 – (C) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウムチャネル(IKACH)阻害	・不整脈 (心房細動など)	・帝人ファーマ、ブリストルマイヤーズ・スクイブとの ライセンス契約終了(2015/9) ・新たな導出先検討中 ・AMED*革新的医療シーズ実用化研究事業に採択(2018/9) ・大阪大学と医師主導治験を実施中

*国立研究開発法人日本医療研究開発機構

<創薬研究方針>

戦略的に構築した化合物ライブラリ、精密有機合成力、独自の核酸構造、最先端の評価技術を駆使して、革新的な医薬品を創り出す

◆ 自社創薬研究

・イオンチャネル評価力を基軸に循環器疾患領域と神経疾患領域に集中

◆ 戦略的共同研究

・低分子創薬および核酸創薬について、製薬企業およびバイオベンチャー数社と共同研究を実施中

医薬品セグメント概況 – (D) ファインテック

- ◆ 医薬品技術開発型受託事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託
- ◆ 加えて高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心として、新規案件獲得に注力
 - 2016年～マキサカルシトール(角化治療薬、二次性副甲状腺機能亢進症)
 - 2017年～エルデカルシトール(骨粗しょう症治療薬)

◆ ファインテック売上高推移

(億円)

	2013 実績	2014 実績	2015 実績	2016 実績	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021予想 (2021/5発表)	2021予想 (2021/11発表)
売上高	12	18	23	24	25	26	29	38	39	39

前年同期比 連結売上高成長率											
2019実績			2020実績			2021予想 (2021/5 発表)			2021予想 (2021/11 発表)		
上	下	計	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
0%	+23%	+11%	+12%	+45%	+30%	+28%	-11%	+5%	+29%	-12%	+4%

医薬品セグメント概況 – (E) 今後の医薬品事業戦略(2020/5発表)

1. 創薬

(1) 収益化モデルの改革

◆研究初期から全ての研究開発ステージで技術と化合物の導出を狙う

A. 自社創薬

(現在)臨床試験直前段階ではじめて導出

(今後)臨床試験以前の探索段階で、導出候補先の評価も踏まえ、提携と導出を判断

B. 共同創薬

◆自社の創薬技術(核酸創薬プラットフォームなど)をパートナーに提供し、収益につなげる

◆当社の核酸技術の強み…独自の修飾核酸構造

(2) R&D投入資源の効率化

A. 創薬開発要員を2年で10人削減

B. 研究開発費用を25億円程度で固定

(3) 創薬テーマ数を現状18テーマから10テーマに絞り込み

2. ファインテック

(1) 当面のリバロ中心の創薬事業減収を、ファインテック事業拡大で支える

(2) マキサカルシトール、エルデカルシトールに続く高活性・高付加価値GE原薬の新規案件獲得、ペプチド受託を狙う

3. 概算収益イメージ

(億円、利益は新方式)

		2019	2020	2020	2021	2021
		実績	予想 (20/5発表)	実績	予想 (21/5発表)	予想 (21/11発表)
売上高	創薬	40.6	27.9	28.8	21.4	24.0
	FT	29.0	35.6	37.7	39.3	39.2
	計	69.6	63.5	66.5	60.7	63.2
営業利益	創薬	-1.2	-9.5	-9.3	-15.1	-12.4
	FT	10.5	13.8	12.9	17.9	17.5
	計	9.3	4.3	3.6	2.8	5.1

(白紙)

医薬品セグメント概況 - (F-1) セグメント収益動向

(億円)

	2020実績(A)							2021予想 (2021/5発表)					2021予想(B) (2021/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	15.0	15.2	30.2	14.0	22.3	36.3	66.5	8.9	20.5	29.4	31.3	60.7	10.7	22.7	33.4	18.6	11.2	29.8	63.2	+3.2	-6.5	-3.3
創薬	7.4	7.9	15.3	5.8	7.7	13.5	28.8	4.9	5.4	10.3	11.1	21.4	6.3	7.8	14.1	6.1	3.8	9.9	24.0	-1.2	-3.6	-4.8
FT	7.6	7.3	14.9	8.2	14.6	22.8	37.7	4.0	15.1	19.1	20.2	39.3	4.4	14.9	19.3	12.5	7.4	19.9	39.2	+4.4	-2.9	+1.5
営業利益	-0.7	1.0	0.3	-0.4	3.7	3.3	3.6	-3.3	5.2	1.9	0.9	2.8	-1.9	6.4	4.5	3.1	-2.5	0.6	5.1	+4.2	-2.7	+1.5
創薬	-2.2	-1.4	-3.6	-3.6	-2.1	-5.7	-9.3	-4.0	-3.1	-7.1	-8.0	-15.1	-2.9	-1.5	-4.4	-3.4	-4.6	-8.0	-12.4	-0.8	-2.3	-3.1
FT	1.5	2.4	3.9	3.2	5.8	9.0	12.9	0.7	8.3	9.0	8.9	17.9	1.0	7.9	8.9	6.5	2.1	8.6	17.5	+5.0	-0.4	+4.6

2021 1Q実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
◆ 売上高-1.1億円、営業利益-0.7億円
- (FT) ◆ 減収
◆ 棚卸評価損+1億円
(20年度評価損計上・21年度計上なし、プラス要因)
◆ 売上高-3.2億円、営業利益-0.5億円
- (合計) ◆ 売上高-4.3億円、営業利益-1.2億円

< 2021/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 売上高+1.4億円、営業利益+1.1億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ
◆ 売上高+0.4億円、営業利益+0.3億円
- (合計) ◆ 売上高+1.8億円、営業利益+1.4億円

2021 2Q実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ増収(国内増収、輸出減収)、その他製品減収
◆ 固定費減少1億円
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
◆ 売上高-0.1億円、営業利益-0.1億円
- (FT) ◆ 増収
◆ 売上高+7.6億円、営業利益+5.5億円
- (合計) ◆ 売上高+7.5億円、営業利益+5.4億円

< 2021/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 固定費下ぶれ1億円(プラス要因)
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
◆ 売上高+2.4億円、営業利益+1.6億円
- (FT) ◆ 売上高下ぶれ
◆ 売上高-0.2億円、営業利益-0.4億円
- (合計) ◆ 売上高+2.2億円、営業利益+1.2億円

医薬品セグメント概況 – (F-2) セグメント収益動向

2021上実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
◆ 固定費減少1億円
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
◆ 売上高-1.2億円、営業利益-0.8億円
- (FT) ◆ 増収
◆ 棚卸評価損+1億円(プラス要因)
◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
◆ 売上高+4.4億円、営業利益+5.0億円
- (合計) ◆ 売上高+3.2億円、営業利益+4.2億円

<2021/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 固定費下ぶれ1億円(プラス要因)
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
◆ 売上高+3.8億円、営業利益+2.7億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ
◆ 売上高+0.2億円、営業利益-0.1億円
- (合計) ◆ 売上高+4.0億円、営業利益+2.6億円

2021下予想

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
◆ 固定費増加1億円
◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
◆ 売上高-3.6億円、営業利益-2.3億円
- (FT) ◆ 減収
◆ 棚卸評価損+1億円(プラス要因)
◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
◆ 売上高-2.9億円、営業利益-0.4億円
- (合計) ◆ 売上高-6.5億円、営業利益-2.7億円

<2021/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高下ぶれ(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)
◆ 売上高-1.2億円、営業利益予想通り
- (FT) ◆ 売上高下ぶれ
◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
◆ 売上高-0.3億円、営業利益-0.3億円
- (合計) ◆ 売上高-1.5億円、営業利益-0.3億円

ESGへの取り組み

◆ ESGインデックス等

- 2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に5年連続認定
- 2020年6月 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄に2年連続で選定
- 2020年8月 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同を表明
- 2020年11月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に3年連続選定
- 2020年12月 CDP 水セキュリティにおいて「Aリスト」に2年連続選定
- 2021年1月 温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定

中期経営計画Vista2021(2016-2021年度)目標:

2021年度までに、2011年度比 20%削減 → 2019年度の段階で、2011年度比 27%削減を達成済

新長期目標:2030年度までに、2018年度比 30%削減

温室効果ガス(GHG)排出量(CO2換算、千トン)

年度	2011	2018	2019	2020	2021	2030
中期経営計画Vista2021	-	-	-	-	359	-
実績	448	363	327	318	-	-
新長期目標	-	-	-	-	-	254
大手総合化学5社平均	-	-	5,069	-	-	-

- 2021年4月 ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
- 2021年7月 FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に2年連続選定
- 2021年9月 「統合レポート2021」を発行 (https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2021.pdf)
- 2022年6月(予定) メラミン停止によるGHG削減(26千トン、2018年度実績の約7%に相当)

◆ ガバナンス

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
- 2021年6月 女性取締役1名選任(選任後、取締役は計10名、うち社外4名)

◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

- 2020年1月 2019年度「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中50社に2年連続選定(2020年度東証は表彰見送り)

セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資 (1)						減価償却 (2)						研究開発費用						売上高比率(4)
	2017	2018	2019	2020	2021E (2021/5)	2021E (2021/11)	2017	2018	2019	2020	2021E (2021/5)	2021E (2021/11)	2017	2018	2019	2020	2021E (2021/5)	2021E (2021/11)	
化学	26	20	31	49	44	26	17	18	19	22	29	27	6	6	4	3	3	3	0.8%
機能性	72	33	33	32	56	63	59	60	52	45	41	40	81	82	77	70	73	72	8.9%
農業化学(3)	26	33	79	64	18	14	14	17	23	26	28	27	43	45	46	44	45	43	6.5%
医薬	7	5	6	5	7	6	7	6	6	5	6	5	25	25	25	24	24	22	34.9%
卸売	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	-
その他	6	7	7	7	8	8	7	7	4	5	4	5	17	20	20	24	23	24	-
合計	137	99	157	158	134	118	105	109	105	104	109	105	172	178	172	165	168	164	
(売上高研究開発費比率(4))													8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	9.8%	8.0%	

(1) 設備投資額
実績 - 検収ベース
予想 - 稼働開始ベース

(2) 減価償却法
サンエパー、ARC®、多層材料 - 4年定率(初年度50%を償却)
その他製品 - 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(21/9) -①	470
総合職人員(21/9) -②	1,215
①/②	39%

(3) 2019年クインテック買収(63億円)、2020年ダイセン買収(54億円)を含む

※単体ベース(海外駐在員含む)

(4) 2021予想: 会計方針の変更による売上高減少影響有り(p2、15、16参照)

※概数

主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2018実績		2019実績		2020実績		2021予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
物質研(機器)	7	シアヌル酸(1)増強	19	材料研(機器)	14	農薬(製造設備)	40
材料研(機器)	7	物質研(機器)	7	情報システム関連	11	情報システム関連	14
農薬(開発新棟)	6	材料研(機器)	6	農薬(製造設備)	9	DP(製造設備)	13
NSU R&Dセンター	5	DP(製造設備)	5	半導体分析機器	8	物質研(機器)	8
テピック増強	5	生物科学研(機器)	3	物質研(機器)	7	材料研(機器)	5
生物科学研(機器)	4	テピック(製造設備)	2	NCK 半導体増強	4	半導体製造試験	3
半導体製造試験	2	(1) ファインケミカル(p18参照)		生物科学研(機器)	2	生物科学研(機器)	3
スノーテックス増強	2						

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)(2019年5月発表)– (A)

1. PL⁽¹⁾

(億円)

	2018	2021	2021	2021
	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/11発表)
売上高	2,049	2,500	2,350	2,055
営業利益	371	400	430	474
経常利益	391	408	440	488
純利益	294	310	330	364
EPS(円/株)	197.67	-	230.00	255.10
配当(円/株)	82	-	-	114
為替レート(円/ドル)	111	115	110	108
ナフサ(円/kl)	49,700	51,100	43,000	-
原油(JCC)(ドル/bbl)	-	-	64	73

コロナ禍にもかかわらず、2021年度は、
中期経営計画における各数値目標を達成見込み

(経営指標)

	2018	2021	2020、2021	2021
	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/11発表)
売上高営業利益率	18.1%	15%以上	18%以上	23.1%
ROE	16.6%	14%以上	16%以上	18.1%
配当性向	41.5%	40%	45%	44.7%

2. セグメント⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	売上高				営業利益			
	2018	2021	2021	2021	2018	2021	2021	2021
	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/11発表)	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/11発表)
化学品	357	405	431	364	30	45	51	29
機能性材料	630	829	751	809	150	184	173	263
農業化学品	627	670	701	658	184	167	211	182
医薬品	70	83	75	63	10	24	7	5
卸売・その他・調整	365	513	392	161	-3	-20	-12	-5
合計	2,049	2,500	2,350	2,055	371	400	430	474

(1) 2021予想:会計方針の変更による売上高減少を含む。セグメントでは「卸売・その他・調整」に反映(p2、15、16参照)

(2) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)(2019年5月発表)– (B)

1. キャッシュフロー

(億円)

	2016-2018 合計	2019-2021 合計(概数)	2019-2021 合計
	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計
営業CF	1,021	1,150	1,148
投資CF	-392	-450	-423
財務CF	-620	-750	-773
(うち株主還元)	-556	-700	-725
(うち借入金返済)	-64	-50	-39
	2019/3 実績	2022/3 現中計	2022/3 予想
期末現預金残高	362	300	322
期末有利子負債残高	246	210	227

2. 設備投資、減価償却費、研究開発費、研究開発要員

(億円)

(人数)

	設備投資			減価償却費			研究開発費			研究開発要員	
	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2019-2021 合計	2020	2021
	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計	実績	現中計
化学品	66	147	106	52	94	68	16	14	10	5	10
機能性材料	189	178	128	167	170	137	243	267	219	190	210
農業化学品	83	82	157	44	55	76	126	148	133	90	95
医薬品	21	17	17	21	18	16	72	71	71	75	90
卸売・その他・調整	20	23	25	19	31	17	54	80	68	100	75
合計	379	447	433	303	368	314	511	580	501	460	480

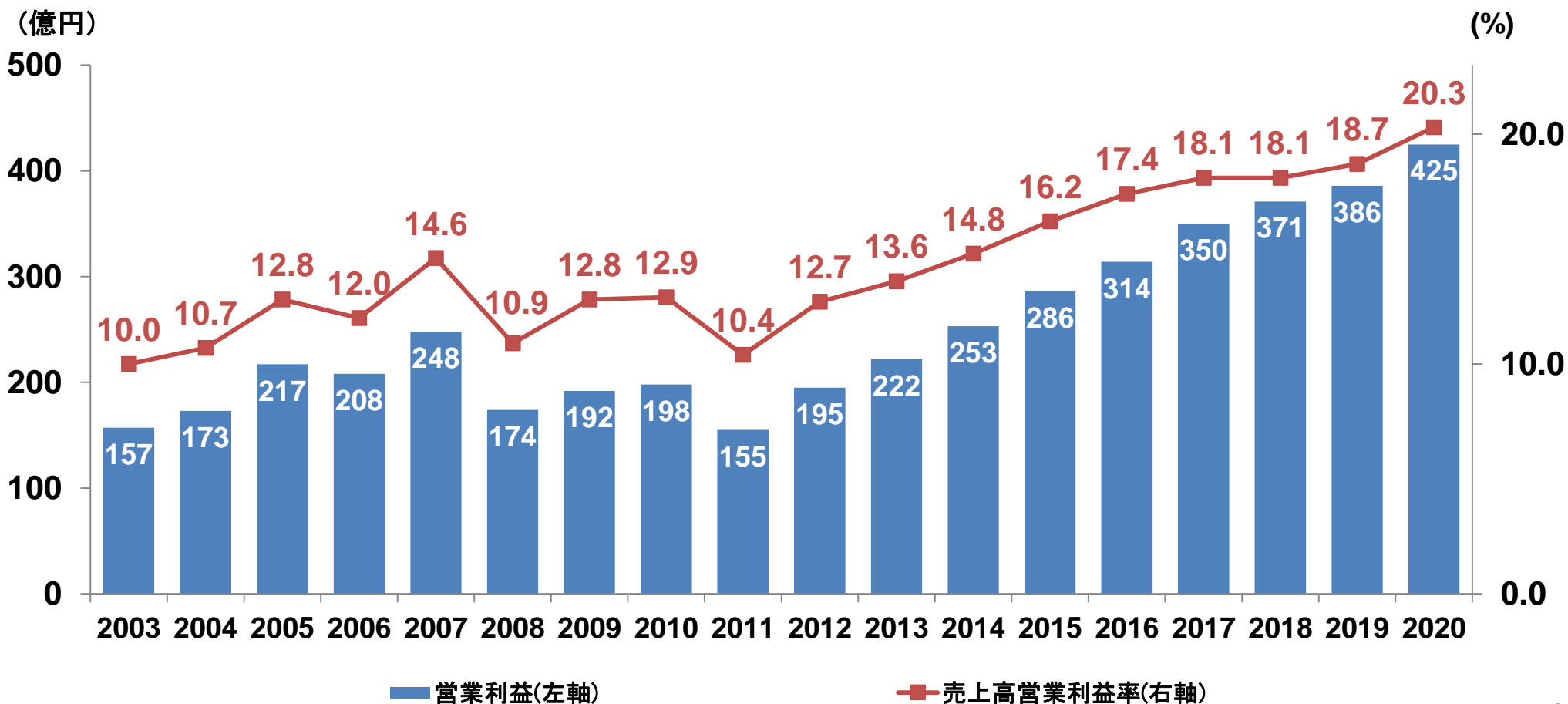
2021中計と2021予想の差異

(億円)

		2021中計(A)	2021予想(B) (2021/11)	(B) - (A)	
化学品	売上高	431	364	-67	ファイン合計下ぶれ (上ぶれ)テピック一般 (下ぶれ)テピック電材、環境化学品、ファインオキソ(化粧品向け) 基礎合計下ぶれ (上ぶれ)尿素・アドブルー (下ぶれ)メラミン国内・輸出
	営業利益	51	29	-22	売上高下ぶれ、固定費下ぶれ ファイン下ぶれ、基礎下ぶれ
機能性材料	売上高	751	809	+58	ディスプレイ合計上ぶれ (上ぶれ)光IPS (下ぶれ)ラビングIPS、VA、TN、その他ディスプレイ材料 半導体合計上ぶれ (上ぶれ)KrF、ArF、多層材料、EUV材料 (下ぶれ)三次元実装材料、CMOSイメージセンサー材料 無機合計下ぶれ (上ぶれ)スノーテックス一般・研磨 (下ぶれ)オルガノゾル・モノマーゾル、オイル&ガス材料
	営業利益	173	263	+90	売上高上ぶれ、固定費(ディスプレイ、半導体、無機)下ぶれ ディスプレイ上ぶれ、半導体上ぶれ、無機下ぶれ
農業化学品	売上高	701	658	-43	(上ぶれ)ダイセン、クインテック、ライメイ (下ぶれ)フルラネル、グレーシア、ラウンドアップ(ML・AL下ぶれ)、タルガ、パーミット
	営業利益	211	182	-29	売上高下ぶれ、固定費上ぶれ
医薬品	売上高	75	63	-12	創薬合計中計通り (上ぶれ)リバロ国内 (下ぶれ)リバロ輸出、一時金 FT合計下ぶれ (下ぶれ)ジェネリック原薬、ペプチド受託生産
	営業利益	7	5	-2	売上高下ぶれ、固定費下ぶれ 創薬上ぶれ、FT下ぶれ
卸売・その他・調整	売上高	392	161	-231	卸売下ぶれ-15、その他国内子会社下ぶれ-13、 調整額計算-203(会計方針の変更による売上高減少を含む(p2、15、16参照))
	営業利益	-12	-5	+7	卸売中計通り、その他国内子会社下ぶれ-2、調整額計算+9
合計	売上高	2,350	2,055	-295	
	営業利益	430	474	+44	

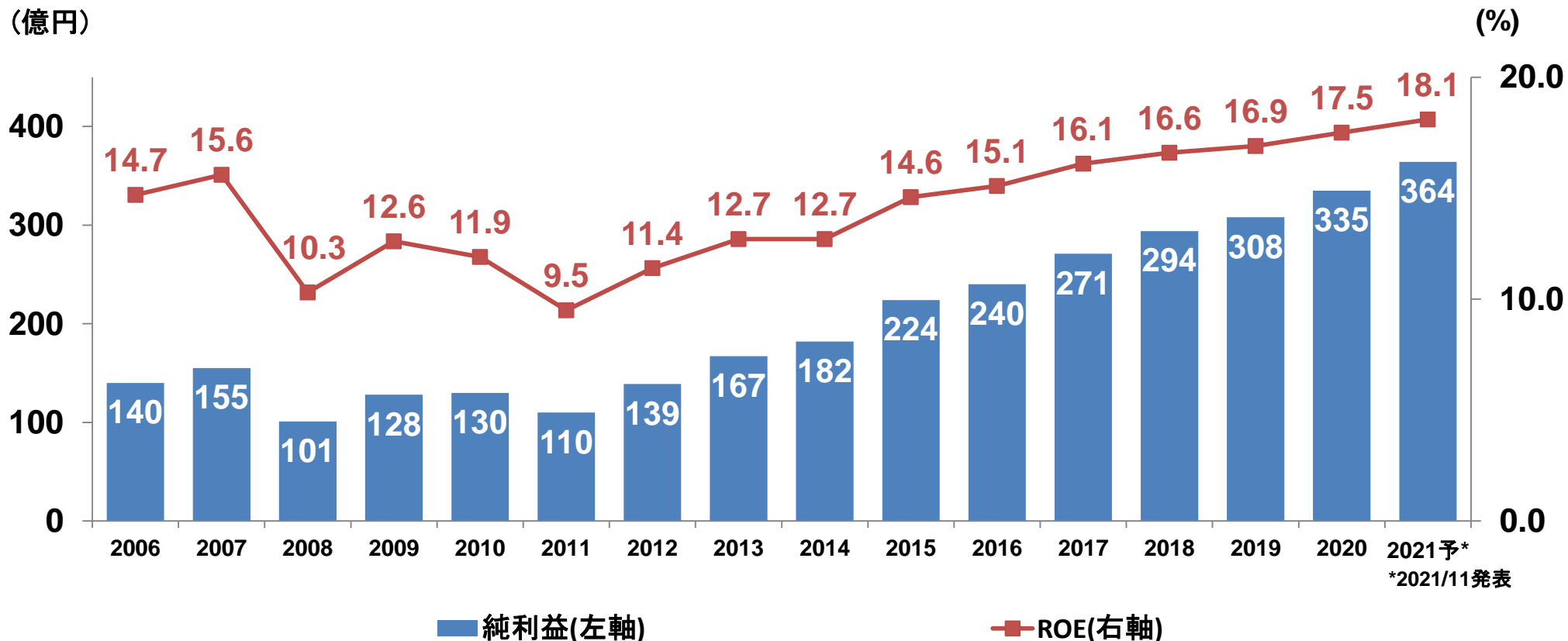
当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降18年連続10%以上)



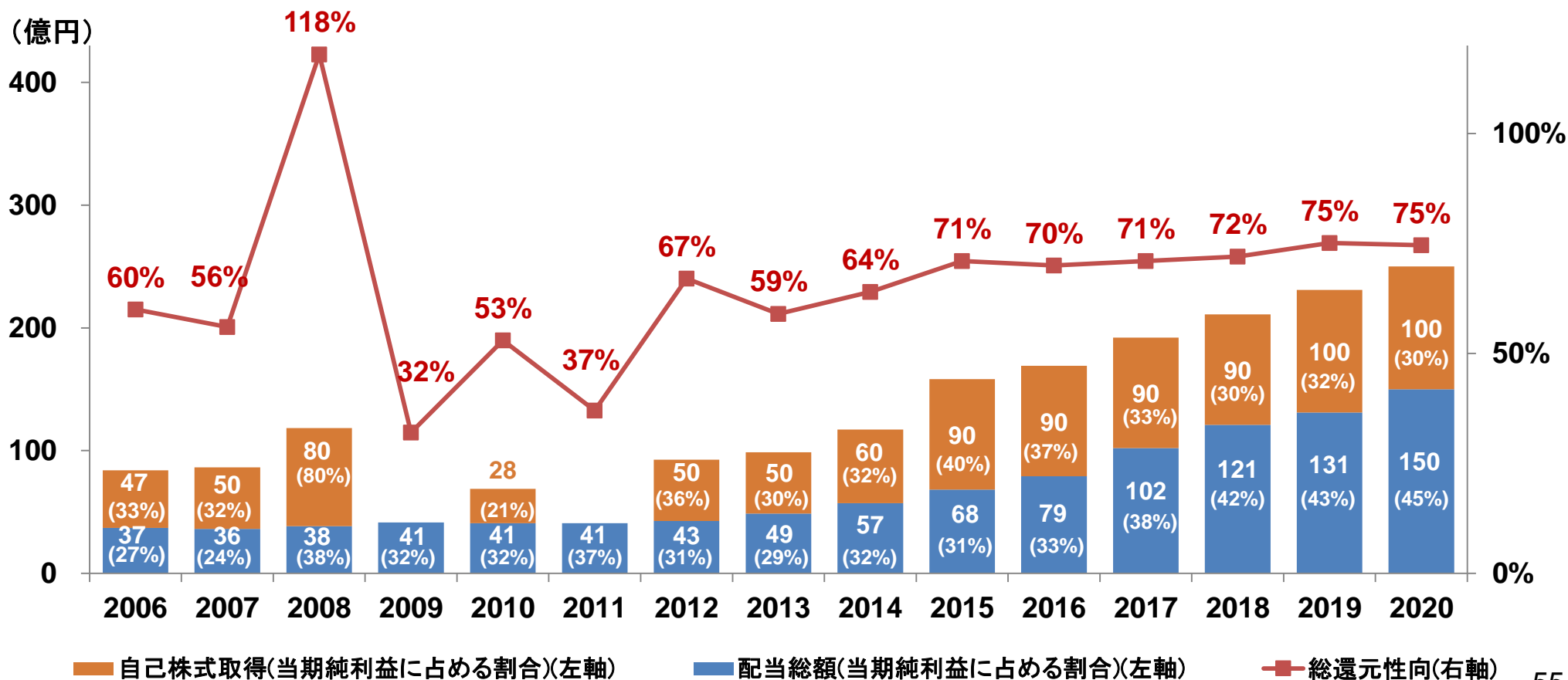
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標
- ◆ 2020年度実績は17.5%



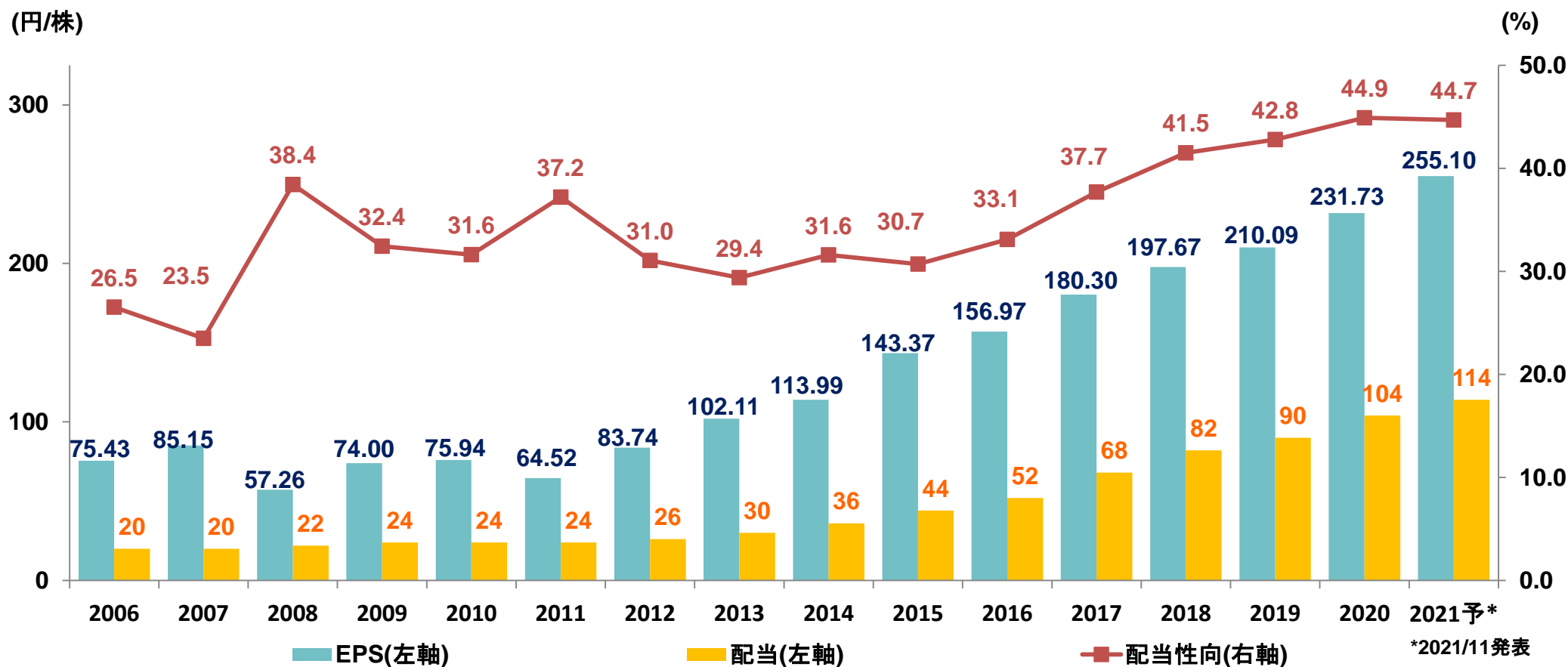
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元を実施
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標
- ◆ 2020年度実績は74.6%



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ
- ◆ 中計(2019-2021年度)では2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標
- ◆ 2020年度実績は44.9%
- ◆ 2012年度以降2020年度まで9年連続増配



当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始、2006-20年度取得総額925億円、4,271万株(取得開始前発行済株式の22.8%)
- ◆ 2006-20年度取得株はすべて消却済

2006-2020年度 自己株式取得実績

- (1) 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を除く
 (2) 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を含む

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
取得数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	42,715
取得価額(億円)(1)	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	925
自己株式消却数(千株)	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	42,635
発行済株式数(百万株)	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	-
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	-
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	-

*2009年度、2011年度は自己株式取得なし

◆ 取得・消却実績

年度	2018			2019			2020			2021
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上
自己株式取得総数(千株)(1)	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334	495	1,829	1,262
取得価額総額(億円)(1)	50	40	90	60	40	100	70	30	100	70
自己株式消却総数(千株)	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	1,000	0	1,000	2,000

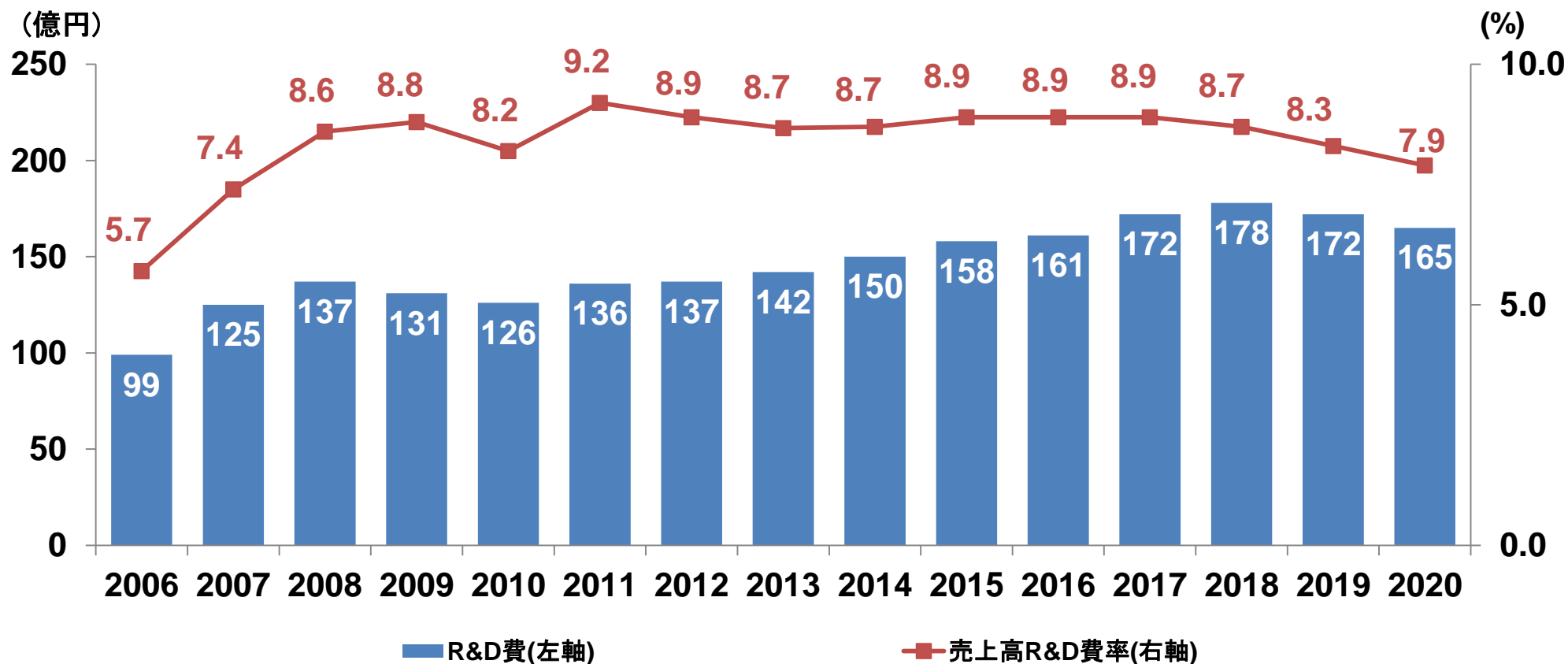
◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

当社の特徴- (F-1)研究開発

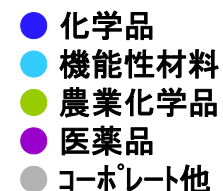
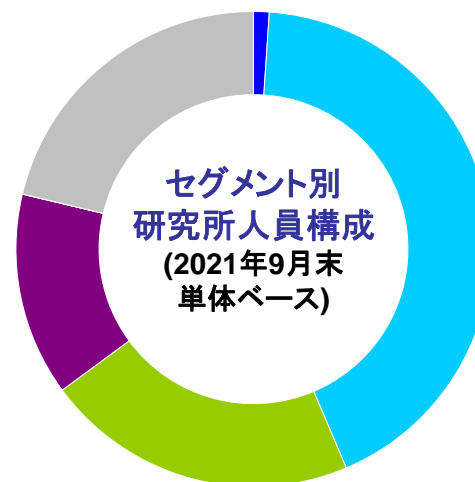
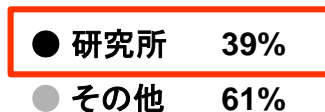
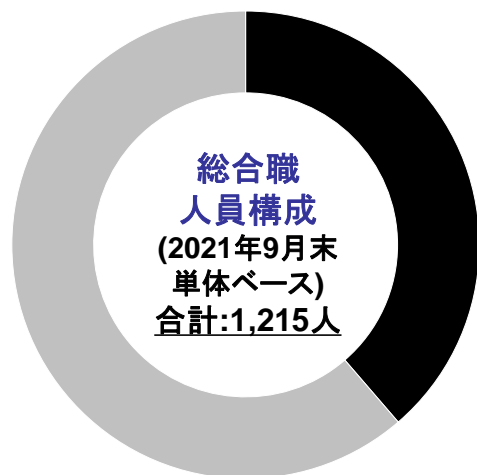
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴- (F-2)研究開発

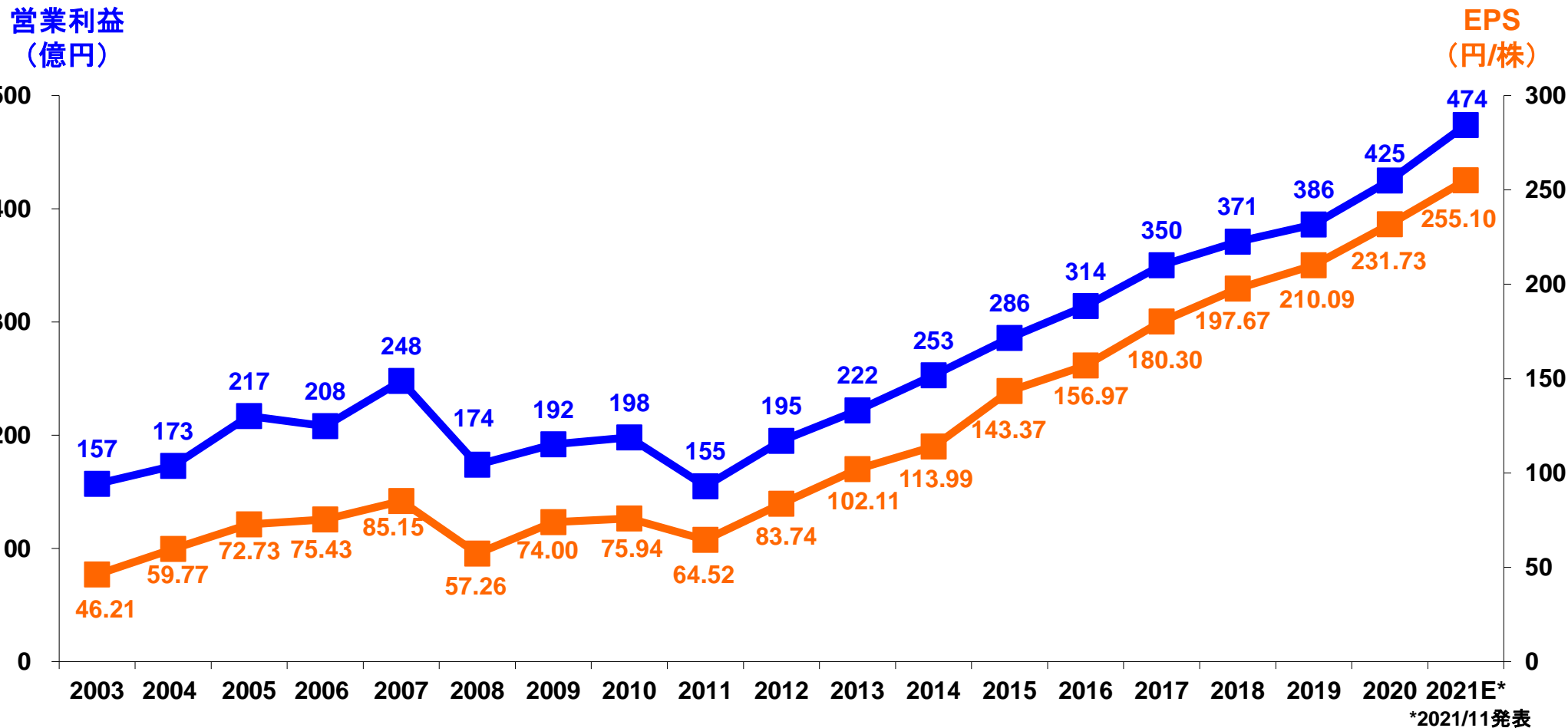
◆セグメント別研究開発費

セグメント	2020年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	319	15	4.7%	3	0.9%
機能性材料	716	224	31.3%	70	9.8%
農業化学品	638	182	28.5%	44	6.9%
医薬品	67	4	6.0%	24	35.8%
コーポレート他	-	-	-	24	-
その他共通合計	2,091	425	20.3%	165	7.9%



(白紙)

長期業績推移



長期業績推移 (1)

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,055
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	474
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	488
純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	364
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	492	530	579
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	23.1%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	18.1%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	255.10
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	114
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	44.7%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	70
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	157	158	118
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	105
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	164
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	8.0%

*2021/11発表

(1) 2021予想:会計方針の変更による売上高減少を含む(p2、15、16参照)

2017-21 2Q 四半期別セグメント別売上高(1)(2)(3)

(億円)

	2017実績					2018実績					2019実績					2020実績					2021実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84	87	88	343	74	73	83	89	319	88	83
ファイン	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26	26	27	105	27	27	28	32	114	32	30
基礎	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58	61	61	238	47	46	55	57	205	56	53
機能	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163	170	171	655	171	175	192	178	716	200	196
農化	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132	55	306	640	146	111	63	318	638	134	116
医薬	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15	16	20	70	15	15	14	23	67	11	22
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	7	9	10	41	7	8	6	8	29	6	8
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	6	10	29	8	7	8	15	38	4	15
卸売	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158	175	171	679	182	155	178	183	698	178	186
他	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49	51	75	224	48	46	68	76	238	49	55
調整	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123	-139	-143	-543	-143	-123	-161	-158	-585	-195	-205
合計	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478	415	688	2,068	493	452	437	709	2,091	465	453

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度よりファインオキシコール(化粧品原料等)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2017-21 2Q 四半期別セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2017実績 (旧方式)					2018実績 (旧方式)					2019実績 (新方式)					2020実績 (新方式)					2021実績 (新方式)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	5	5	13	7	-8	7	9	15	13	-1
機能	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	40	44	47	39	170	53	54	63	54	224	70	62
農化	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-18	117	193	40	38	-13	117	182	41	29
医薬	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	3	9	-1	1	0	4	4	4	-2
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-2	-2	0	-1	-2	-1	-4	-2	-9	-3	-2
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	2	4	11	2	2	3	6	13	1	8
卸売	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	21	7	5	7	6	25	7	6
他	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	5	7	0	0	4	4	8	1	-1
調整	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-11	-6	-7	-3	-27	-8	-8	-12	-5	-33	-11	-8
合計	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	35	171	386	98	82	56	189	425	119	94

(1) 2019-21 :新方式セグメント別営業利益

1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)

2. 2019年度は遡及して再計算

3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)(3)(4)

<売上高 (A) >

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021E*
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	343	319	364
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	655	716	809
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	640	638	658
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70	67	63
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	679	698	751
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224	238	235
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-825
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,055

*2021/11発表

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	13	15	29
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	170	224	263
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	193	182	182
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	9	4	5
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21	25	23
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	7	8	6
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-34
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	474

<セグメント資産 (D)>

2020
308
510
828
96
262
128
523
2,655

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	8.0%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	32.5%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	27.7%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	7.9%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.1%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	2.6%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	23.1%

<ROA (E)=(B)/(D)>

4.9%
43.9%
22.0%
4.2%
9.5%
6.3%
16.0%

(1) 2010-11 : 旧セグメント, 2012- : 新セグメント

(2) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(3) 2019-21予想 : 新方式セグメント別営業利益(p64参照)

(4) 2021予想 : 会計方針の変更による売上高減少を含む(p2, 15, 16参照)

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アドフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アドフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®（KrF、ArF） OptiStack®（多層材料） NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド スノーテックス</p> <p>オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料（Si-HM、SOC） *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材（シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等）、 特殊鋼板</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シェールオイル・ガス採掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ パーミット シリウス ラウトアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト グレーシア</p> <p>◆殺菌剤 ハルサー、イカルガ、グレートム （チフルサミド） ライメイ クインテック（キノキシフェン） ダイセン（マンセブ）</p> <p>◆動物薬 フルアラネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、稲 稲 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 稲</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>ばれいしょ、稲、芝</p> <p>ばれいしょ、野菜、ブドウ 果樹、野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ原薬 ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION